

消防年報

令和3年版



防災学習広場



佐賀広域消防局

ま え が き

佐賀広域消防局では、住民の生命、身体及び財産を守り、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、消防団はもとより、関係市町や関係機関との緊密な連携の強化を図っています。また、複雑多様化する災害に的確かつ効率的に対応できる消防体制の検討や職員の資質向上、消防施設、車両などの整備を図り、消防業務を進めています。

この消防年報は、住民の方や消防関係者をはじめ、多くの方々に佐賀広域消防局の現勢と消防に関する各種資料を紹介することを目的として編集しています。より多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

消防年報資料は原則として暦年で記載し、これによらないものについてはそれぞれの年月日及び期間にて作成いたしました。

令和3年9月

佐賀広域消防局

※管内合併の状況

- ・平成12年4月1日：佐賀市消防本部、多久市消防本部、佐賀郡消防事務組合消防本部及び小城地区消防事務組合消防本部が合併
- ・平成25年4月1日：佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部が合併

2021年度 全国統一防火標語

おうち時間 家族で点検 火の始末

2021年度 危険物安全週間推進標語

事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム

令和3年版消防年報もくじ

概 要

○ 消防局の管内一目統計	———	3
○ 地 勢、気 象	———	4
○ 位置図	———	5
○ 構成市町の紹介	———	6
○ 佐賀広域消防局管内の人口等推移	———	8
○ 消防庁舎の現況	———	9
○ 消防車両一覧表	———	14
○ 佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要	———	15
○ 各種協定の状況	———	17

総 務

I 組織	———	21
○ 佐賀中部広域連合機構		
○ 佐賀広域消防局組織図		
II 財政	———	23
○ 消防費当初予算、令和3年度消防費予算に対する住民の負担状況		
III 人事	———	24
○ 職員配置状況		
○ 年齢別職員数		
○ 勤続年数別職員数		
○ 職員の特殊技能・資格取得状況		
IV 消防音楽隊	———	30
○ 消防音楽隊		
V 消防団	———	31
○ 消防団の概要、消防団現勢		
○ 年齢別消防団員数		
○ 消防団組織図		

予 防

I 防火対象物	———	39
○ 建築物申請処理状況		
○ 用途別防火対象物使用開始届出状況		
○ 防火対象物数		
○ 中高層建築物(4階以上)		
II 危険物施設	———	43
○ 数量別危険物施設数、危険物施設数		
III 防火クラブ	———	44
○ 幼少年女性防火委員会、幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ		

警 防		
I 警防	————	47
○ 緊急消防援助隊の紹介		
○ 消防水利の状況		
II 救急	————	51
○ 応急手当普及啓発活動実施状況		
○ 救マーク制度、救急資器材保有状況		
III 救助	————	54
○ 救助資機材保有状況		
○ 国際消防救助隊の紹介		
通 信		
I 通信	————	61
○ 指令管制業務の概要		
○ 指令管制システムの構成図		
○ デジタル無線設備システム系統図		
○ 無線局の配置状況		
統計(災害出動状況)		
I 火災	————	67
○ 火災の種別、令和2年中の火災概要		
○ 火災発生状況		
○ 月別用途別火災発生状況		
○ 月別原因別火災発生状況		
○ 過去3年間の火災発生状況		
○ 過去3年間の火災原因		
II 救急	————	73
○ 救急事故の種別、令和2年中の救急出動概要		
○ 事故種別救急出場件数・搬送人員		
○ 月別救急出場件数・搬送人員		
○ 年齢別搬送人員		
○ 曜日別救急出場件数		
○ 過去3年間の救急出場件数		
III 救助	————	79
○ 救助事故の種別、令和2年中の救助出動概要		
○ 市町別事故種別救助出動件数・救助人員		
○ 過去3年間の事故種別救助出場件数		
IV 警戒	————	82
○ 警戒出動の種別、令和2年中の警戒出動概要、事故種別警戒出動状況		
V 通信	————	83
○ 119番受信状況		

○概要



消防局の管内一目統計

令和3年4月1日現在(火災・救急、救助・通信は令和2年中)

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	793.31km ²	341,739人		145,693世帯
	佐賀市 431.82 km ²	佐賀市 230,970 人	431人／km ²	佐賀市 102,057 世帯
	多久市 96.56 km ²	多久市 18,661 人		多久市 7,866 世帯
	小城市 95.81 km ²	小城市 44,865 人		小城市 16,999 世帯
	神埼市 125.13 km ²	神埼市 31,071 人		神埼市 12,177 世帯
	吉野ヶ里町 43.99 km ²	吉野ヶ里町 16,172 人		吉野ヶ里町 6,594 世帯

予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職員数	消防団員数
	56億426万円 住民1人当り 16,399円 1世帯当り 38,466円	消防局 1 消防署 6 分署 3 出張所 6	定数 425 人 実員 425 人 (定数外職員29人除く)	定員 6,864人 実員 6,271人 (内女性団員161人)

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 18台 (救助ポンプ車4台含む) タンク車 9台	はしご車 3台 救助工作車 3台 化学車 2台 災害支援車 2台 水難救助車 1台	高規格救急車 19台 (非常用救急自動車含む)	消火栓 4,208基 防火水槽 1,035基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	119件 3.1日に1件の割合で発生	① 火入れ 20件 ② 放火 9件 ③ こんろ 6件 ④ たばこ 5件	13,934件 1日当り38.2件の割合で発生	① 急病 7,775件 ② 転院搬送 2,001件 ③ 一般負傷 1,870件 ④ 交通事故 1,100件

救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	303件 1.2日に1件の割合で発生	① その他の事故 135件 ② 交通事故 78件 ③ 建物等による事故 44件 ④ 水難事故 20件	23,859件 1日当り65.4件 (問合わせ、試験等含む)	火災 164件 救急 12,515件 救助 173件 警戒 1,131件

予防	防火対象物	中高層建築物(4階以上)	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象 13,995件	4階～9階 1,000件 10階以上 103件	製造所 9件 貯蔵所 664件 取扱所 347件	幼年消防クラブ 76クラブ 5,333人 少年消防クラブ 5クラブ 225人 女性防火クラブ 1クラブ 7人

地 勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ8万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約15種類も生息しています。

当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町で構成されており、その管内面積793.31k㎡のうち、北部の山間部が約41%、西部の盆地が約11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

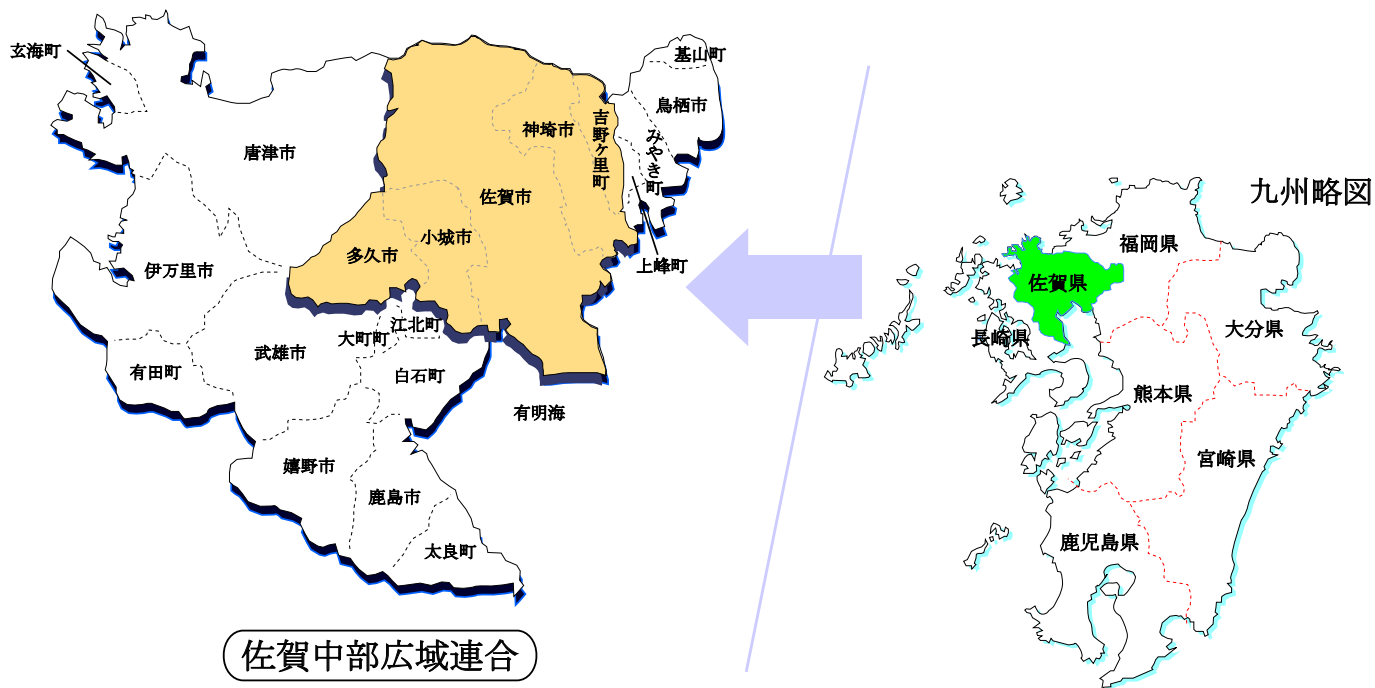
また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

気 象

令和2年中の最高気温は8月で37.9度、最低気温は12月で-1.0度を記録しましたが、年間の平均気温は17.5度、平均湿度は71.0%と、比較的しのぎやすい温和な気候です。

しかし、年によっては異常高温や大雨などの異常気象となることがあります。

位置図



構成市町の紹介

佐賀市

SagaCity



市の木
いちよう

市の花
さくら



佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

人口： 230, 970人
面積： 431. 82km²

佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穡の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、インターナショナルバルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉やスキー場など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。



有明海



三重津海軍所跡の木製護岸

多久市

TakuCity



市の木
かえで

市の花
うめ



多久聖廟(国重要文化財)

人口： 18, 661人
面積： 96. 56km²

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原庫舎(藩校を復元した研修施設)、四季を楽しめる西溪公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。



西溪公園

小城市

OgiCity



市の木
さくら

市の花
さくら



清水の滝

人口： 44, 865人
面積： 95. 81km²

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には美味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。



小城公園の桜

構成市町の紹介

神崎市

Kanzaki City



市の木
もみじ

市の花
さくら



国の名勝 九年庵

人口： 31, 071人
面積： 125. 13km²

神崎は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神崎郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神崎宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。



神崎市マスコットキャラクター
くねんワン・くねんニャン

吉野ヶ里町

Yoshinogari Town



町の木
さざんか

町の花
さくら



吉野ヶ里歴史公園

人口： 16, 172人
面積： 43. 99km²

吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のあふれる町です。また、サザンカ自生北限地(国天然記念物)であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。

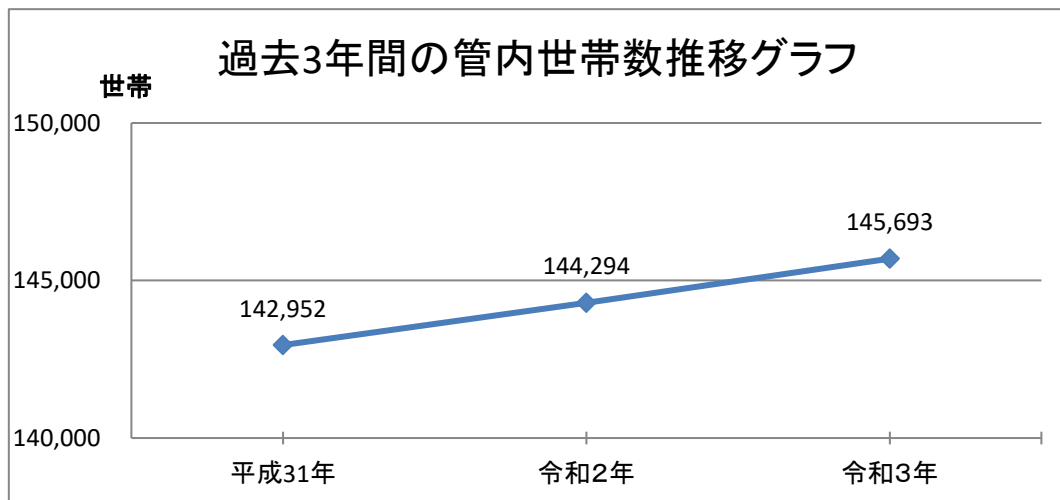
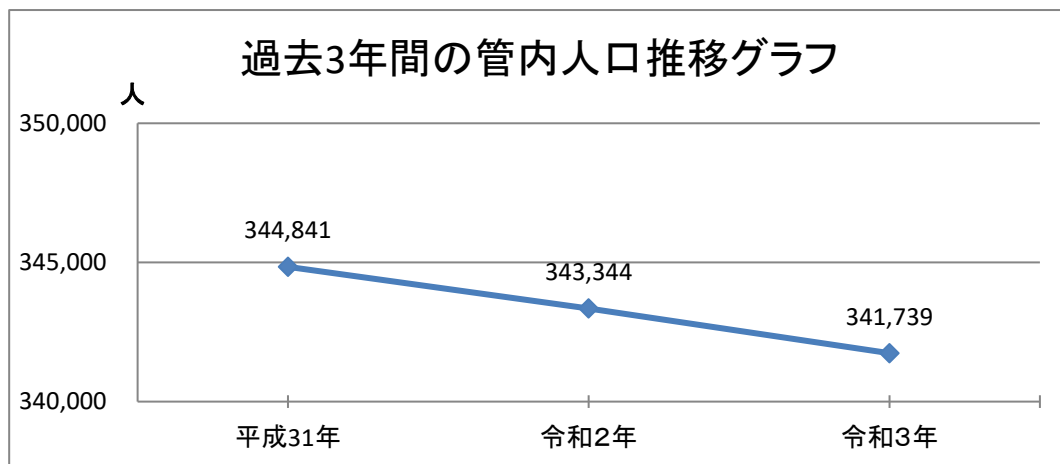


霊仙寺跡から望む茶畑の景色

佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和3年4月1日現在

令和3年					
市	人口(人)	世帯	面積(km ²)	人口比率	面積比率
佐賀市	230,970	102,057	431.82	67.59%	54.43%
多久市	18,661	7,866	96.56	5.46%	12.17%
小城市	44,865	16,999	95.81	13.13%	12.08%
神埼市	31,071	12,177	125.13	9.09%	15.77%
吉野ヶ里町	16,172	6,594	43.99	4.73%	5.55%
合 計	341,739	145,693	793.31	100.0%	100.0%



消防庁舎の現況

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
消 防 局 ・ 佐 賀 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12㎡	6,961.58㎡ 1F 2,167.15㎡ 2F 1,999.39㎡ 3F 1,617.54㎡ 4F 1,135.46㎡ PH 42.04㎡	R3.1	  
	訓練 塔 A 棟	鉄筋コン クリート造 地上5階		229.30㎡	R2.6	
	訓練 塔 B 棟	鉄筋コン クリート造 地上3階		106.33㎡	R2.6	
	訓練 塔 C 棟	鉄筋コン クリート造 地上3階		401.96㎡	R2.6	
	その 他	3棟		35.25㎡	R3.1	
西 分 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	1,315.78㎡	540.65㎡ 1F 359.15㎡ 2F 181.50㎡	S58.3	
	その 他	1棟		9.28㎡		
東 分 署	庁 舎	鉄骨造 2階建	1,827.57㎡	503.81㎡ 1F 361.20㎡ 2F 142.61㎡	H18.3	
	その 他	1棟		10.35㎡		

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
中 央 出 張 所	庁 舎	鉄筋コンクリート造 2階建	390.90 m ²	298.49m ² 1F 227.85m ² 2F 70.64m ²	S58.3	
多 久 消 防 署	庁 舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,676.51m ²	1,006.34m ² 1F 550.23m ² 2F 456.11m ²	H6.3	
	車 庫	鉄骨造 2階建		450.90m ²	H6.3	
	A 訓練塔	鉄筋コンクリート造 5階建		174.00m ²	H6.3	
	B 訓練塔	鉄筋コンクリート造 2階建		80.00m ²	H6.3	
	その他	2棟		73.40m ²	H6.3	
多 久 南 西 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06m ²	393.14m ²	R2.6	
	その他	1棟		4.41m ²	R2.6	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
南 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,624.89㎡	1,678.17㎡ 1F 1,085.37㎡ 2F 592.80㎡	H28.2	
	訓練塔	鉄骨造 5階建		178.93㎡	S61.12	
	補助塔	鉄骨造 平屋建		19.11㎡	S61.12	
	その他	1棟		8.82㎡	H28.2	
久 保 田 出 張 所	庁舎	鉄骨造 2階建	762.80㎡	349.16㎡ 1F 244.24㎡ 2F 104.92㎡	H20.11	
	その他	1棟		3.24㎡	H20.11	
北 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,129.84㎡	1,786.26㎡ 1F 1,390.64㎡ 2F 395.62㎡	H25.8	
	訓練塔	鉄骨造 2階建		36.00㎡	H25.8	
	その他	1棟		8.24㎡	H25.8	
富 士 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20㎡	329.67㎡	H17.8	
	その他	1棟		11.96㎡	H17.8	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
小 城 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	7,075.66㎡	1,558.49㎡ 1F 996.89㎡ 2F 561.60㎡	H26.8	
	訓練塔 1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔 2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔 3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨 スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H26.8	
北 分 署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F 426.59㎡ 2F 142.56㎡	H16.3	

		構 造	敷地面積	延 面 積	建 築 年 月	庁 舎 写 真
神 埼 消 防 署	庁 舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	 
	A 訓 練 塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B 訓 練 塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
	そ の 他	1棟		9.92㎡	H8.3	
三 脊 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
吉 野 ヶ 里 出 張 所	庁 舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

消防車両一覧表

令和3年4月1日現在

種 別 所 属 別		ポン プ 車	救 助 ポン プ 車	タン ク 車	化 学 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	水 難 救 助 車	高 規 格 救 急 車	指 揮 隊 車	災 害 支 援 車	機 動 連 絡 車	査 察 車	指 令 車	資 材 搬 送 車	林 野 火 災 工 作 車	連 絡 車 (普)	連 絡 車 (軽)	人 員 輸 送 車	燃 料 補 給 車	特 殊 車 両	合 計
局	総 務 課																2	1	1			4
	警 防 課									1		1						1	1			4
	予 防 課												1					1		1		3
	小 計									1		1	1				2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	1		1		2	1		3	1			1		2			2	1		1	16
	西 分 署	1		1					1									1				4
	東 分 署	1		1					1									1				4
	中央出張所	2																1				3
	小 計	5		3		2	1		5	1			1		2			5	1		1	27
多久消防署	署	1		2		1			1					1	1			1	1			9
	南西出張所		1						1									1				3
	小 計	1	1	2		1			2					1	1			2	1			12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1			1	1			9
	久保田出張所	1							1									1				3
	小 計	2	1		1				2		1			1	1			2	1			12
北部消防署	署	1	1	1				1	2					1	1	1		1	1			11
	富士出張所	1							1									1				3
	小 計	2	1	1				1	3					1	1	1		2	1			14
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1			1	1			10
	北 分 署	1		1					1									1				4
	小 計	2		2			1		3		1			1	1			2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1		1		2					1	1	1	1		1		1	12
	三脊出張所	1							1									1				3
	吉野ヶ里出張所			1					1									1				3
	小 計	2	1	1	1		1		4					1	1	1	1	2	1		1	18
合 計		14	4	9	2	3	3	1	19	2	2	1	2	5	7	2	3	18	8	1	2	108

※ 特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。



重機



重機搬送車



消防ポンプ自動車CD-I型

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年 5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年 11月	多久市消防本部を設置
昭和44年 11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年 11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年 3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年 4月	平成12年4月1日 佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局発足 職員定数を343人とする 消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く 5署1分署5出張所(旧消防本部の署所を引継ぐ)を置く 通信指令装置の運用開始
平成15年 3月	南部消防署庁舎大規模改修 平成15年3月31日 佐賀地区広域市町村圏組合解散
平成15年 4月	平成15年4月1日 佐賀中部広域連合佐賀広域消防局発足
平成16年 4月	小城消防署北分署庁舎新設
平成17年 9月	北部消防署富士出張所庁舎新築
平成18年 3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設
4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
5月	臨時議会において佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用による対応を図る(定数外処理)
平成19年 4月	女性消防吏員初採用
平成20年 4月	再任用制度導入(5人再任用)
11月	南部消防署久保田出張所新築
平成21年 1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置 小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年 4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される(6名) 位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年 4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年 1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年 1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部の合併が許可される

平成25年	3月	平成25年3月31日 神埼地区消防事務組合解散
	4月	平成25年4月1日 神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる 職員定数を425名とする
平成25年	8月	北部消防署庁舎新築
平成26年	2月	佐賀消防署別棟車庫新築
	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
平成27年	1月	神埼消防署吉野ヶ里出張所庁舎新設
	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所運用開始 6署3分署5出張所となる
	3月	小城消防署庁舎新築
平成28年	2月	南部消防署庁舎新築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所新築
令和 2年	6月	多久消防署多久南西出張所新設
	10月	多久消防署多久南西出張所運用開始 6署3分署6出張所となる
令和 3年	1月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新築
	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新庁舎運用開始
	4月	高機能消防指令センター運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始

各種協定の状況

[相互応援関係]

令和3年4月1日現在

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25 年 4 月 1 日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備 消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部(5本部)	平成 26 年 7 月 2 日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合	平成 25 年 9 月 1 日
	鳥栖・三養基地区消防事務組合	
	春日・大野城・那珂川消防組合	

[高速道路関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する 覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21 年 4 月 1 日
高速自動車道における消防の相互応援に 関する協定	佐世保市	平成 12 年 4 月 1 日
	県央地域広域市町村圏組合	
	杵藤地区広域市町村圏組合	

[空港関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 柳川市	平成 20 年 1 月 1 日
佐賀空港及びその周辺における消火救難 活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20 年 1 月 1 日

[無線関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する 協定等	佐賀市(諸富町・大和町・富士町・ 川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12 年 4 月 1 日
	多久市	平成 22 年 2 月 1 日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び 運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12 年 4 月 1 日

[その他]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する市の 消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場合又は 同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の経費の 負担に関する協定	佐賀県	平成 25 年 2 月 20 日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20 年 4 月 1 日
	多久市	平成 12 年 4 月 1 日
	神埼市	平成 31 年 4 月 1 日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動に おける食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28 年 10 月 28 日
災害時における消防用水等の供給支援に 関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29 年 12 月 26 日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る 協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2 年 3 月 10 日
	吉野ヶ里町	令和 2 年 3 月 16 日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3 年 3 月 22 日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。

また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。

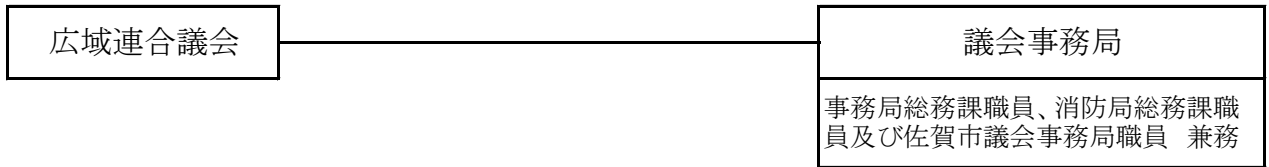
○総務



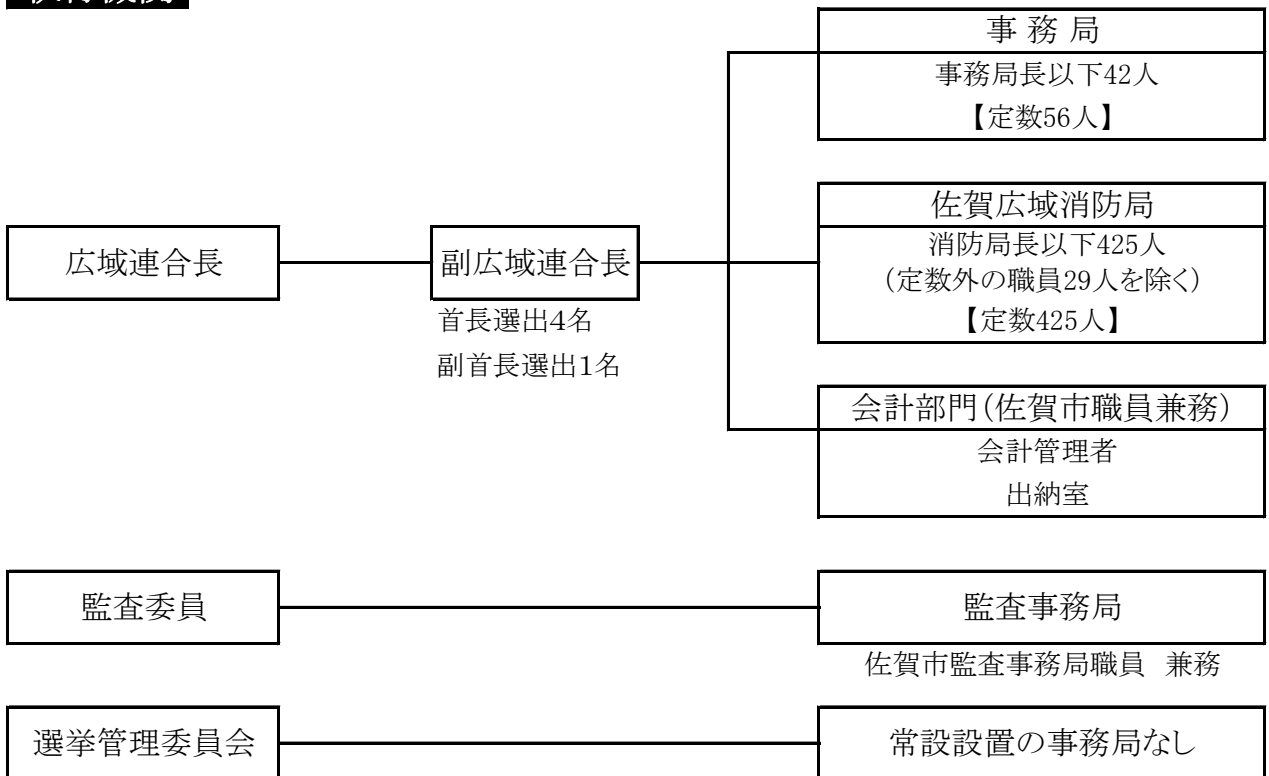
佐賀中部広域連合機構

令和3年6月1日現在

議 会



執行機関

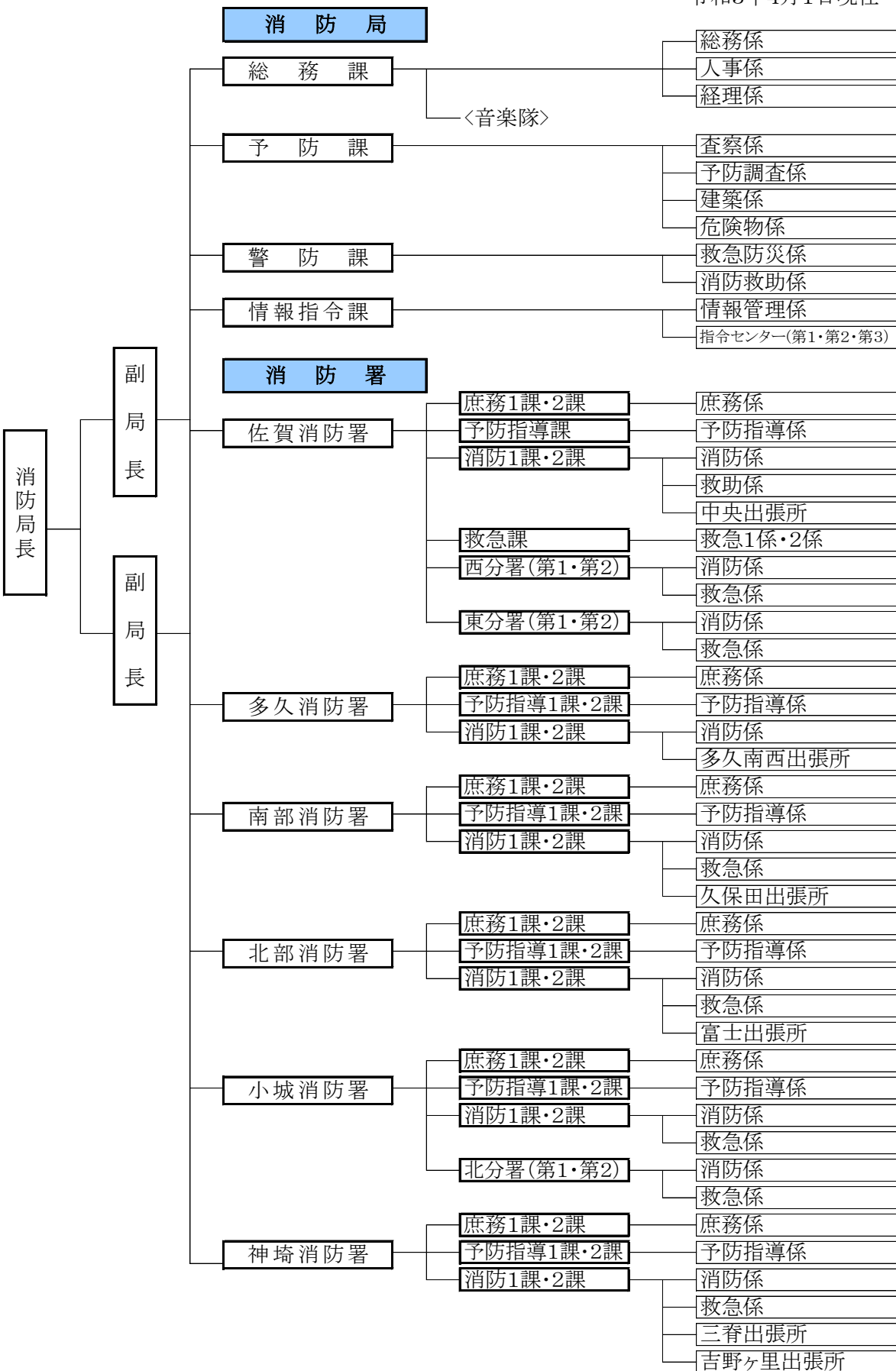


役 職

広域連合長	秀 島 敏 行	佐 賀 市 長	議 長	堤 正 之	佐 賀 市
副広域連合長	横 尾 俊 彦	多 久 市 長	副議長	森 田 浩 文	吉野ヶ里町
	江 里 口 秀 次	小 城 市 長			
	松 本 茂 幸	神 埼 市 長	監査委員	力 久 剛	識 見
	伊 東 健 吾	吉野ヶ里町長			
	伊 東 博 己	佐賀市副市長			
				田 渕 厚	議選(多久市)

佐賀広域消防局組織図

令和3年4月1日現在



消防費当初予算

(単位:千円)

歳 入	令和3年度		令和2年度		前年度比
	予 算	割 合	予 算	割 合	
分担金及び負担金	4,908,203	87.58%	4,828,123	62.86%	1.65 %
使用料及び手数料	4,135	0.07%	3,721	0.05%	11.12 %
財 産 収 入	300	0.01%	250	0.00%	20.00 %
繰 入 金	352,000	6.28%	384,000	5.00%	△ 8.33 %
繰 越 金	10	0.00%	10	0.00%	0.00 %
諸 収 入	36,617	0.65%	39,249	0.51%	△ 6.70 %
広 域 連 合 債	303,000	5.41%	2,425,300	31.58%	△ 87.50 %
合 計	5,604,265	100.00%	7,680,653	100.00%	△ 27.03 %

(△は減)

(単位:千円)

歳 出	令和3年度		令和2年度		前年度比
	予 算	割 合	予 算	割 合	
常 備 消 防 費	4,173,366	74.47%	4,154,857	54.10%	0.44 %
消 防 施 設 費	709,899	12.67%	2,929,739	38.14%	△ 75.76 %
公 債 費	701,000	12.51%	576,057	7.50%	21.68 %
予 備 費	20,000	0.36%	20,000	0.26%	0.00 %
合 計	5,604,265	100.00%	7,680,653	100.00%	△ 27.03 %

令和3年度消防費予算に対する住民の負担状況

令和3年4月1日現在

予 算 (円)	人 口 (人)	世 帯 (世帯)	1人当り額 (円)	1世帯当り額 (円)
5,604,265,000	341,739	145,693	16,399	38,466

職員配置状況

令和3年4月1日現在

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
消 防 局	消 防 局 長	1										1
	副 局 長 ※1		2									2
	総 務 課			1								1
	総 務 係				1	1	1			1		4
	経 理 係				1	1	1			1		4
	人 事 係				1	2	1	1				5
	総務課付（定数内）				1	1						2
	総務課付（定数外）※2				2	4	1		11			18
	予 防 課		1	1								2
	予 防 調 査 係				1			1				2
	査 察 係				1		1					2
	建 築 係				1	1	1					3
	危 険 物 係				1	1	1					3
	警 防 課			1								1
	消 防 救 助 係				1	1	1					3
	救 急 防 災 係				1	2					1	4
	情 報 指 令 課		1									1
	情 報 管 理 係			1		1						2
	指令センター（第1）			1	1	2					3	7
	指令センター（第2）			1	1	2					3	7
	指令センター（第3）			1	2	1					3	7
小 計		1	4	7	16	20	8	2	11	2	10	81
佐 賀 消 防 署	署 長		1									1
	副 署 長（1・2）			2								2
	庶 務 課（1・2）			2								2
	1 課 庶 務 係				1	1	1	1	1			5
	2 課 庶 務 係				1	1	1	1	1			5
	予 防 指 導 課			1								1
	予 防 指 導 係				1	2	2	1			2	8
	消 防 課（1・2）			2								2
	1 課 消 防 係				2		1	1	1			5
	2 課 消 防 係				2		1	1	1			5
	1 課 救 助 係				1	3	4	2				10
	2 課 救 助 係				1	3	4	2				10
	1 課 中央出張所					1	1	1	2			5
	2 課 中央出張所					1	1	1	2			5
	救 急 課			1								1
	救 急 1 係				1	2	2	2	1			8
	救 急 2 係				1	2	2	2	1			8
	西 分 署（1・2）				2							2
	消 防 係（第1）					1	1	2	1			5
	消 防 係（第2）					1	1	1	2			5
	救 急 係（第1）					1	1	1	1			4
	救 急 係（第2）					1	1	1	1			4
	東 分 署（1・2）				2							2
	消 防 係（第1）					1	1	1	2			5
	消 防 係（第2）					1	1	1	2			5
	救 急 係（第1）					1	1	1	1			4
	救 急 係（第2）					1	1	1	1			4
小 計		0	1	8	15	24	28	24	21	0	2	123

※1 総務課長は副局長が兼務。警防課長は副局長が兼務。

※2 総務課付（定数外）内訳：消防庁派遣（司令補 1人）・佐賀市派遣（司令補 1人）・佐賀県派遣（士長 1人、司令補 2人、司令 2人）・初任科（士 11人）

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
多 久 消 防 署	署 長			1								1
	庶務課（副署長1・2）			2								2
	1 課 庶 務 係					1	1				2	4
	2 課 庶 務 係					1		1			1	3
	予防指導課（1・2）				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1				3
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1				3
	消 防 課 （ 1 ・ 2 ）				2							2
	1 課 消 防 係					1	1	1	1			4
	2 課 消 防 係					1	1	1	1			4
	1課多久南西出張所				1		1	1	2			5
	2課多久南西出張所					1	1	1	2			5
	小計	0	0	3	5	7	7	7	6	0	3	38
南 部 消 防 署	署 長			1								1
	庶務課（副署長1・2）			2								2
	1 課 庶 務 係				1		1	1	1			4
	2 課 庶 務 係					1	1	1	1			4
	予防指導課（1・2）				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1		1		2	5
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1			1	4
	消 防 課 （ 1 ・ 2 ）				2							2
	1 課 消 防 係				1		1	1	1			4
	2 課 消 防 係					1	1	1				3
	1 課 救 急 係					1	1		1			3
	2 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	1課久保田出張所					1	1	1	2			5
	2課久保田出張所					1	1	1	2			5
	小計	0	0	3	6	8	10	8	10	0	3	48
北 部 消 防 署	署 長			1								1
	庶務課（副署長1・2）			2								2
	1 課 庶 務 係					1	1	1	1			4
	2 課 庶 務 係					1	1	2				4
	予防指導課（1・2）				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1			1	4
	2 課 予 防 指 導 係					1	2	1				4
	消 防 課 （ 1 ・ 2 ）				2							2
	1 課 消 防 係					1		1	1			3
	2 課 消 防 係					1	1		1			3
	1 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	2 課 救 急 係					1	2		1			4
	1課富士出張所					1	1	2	1			5
	2課富士出張所					1	2		1		1	5
	小計	0	0	3	4	10	12	9	7	0	2	47

階 級 配 置		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事 務 吏 員	再 任 用	計
小 城 消 防 署	署 長		1									1
	庶務課（副署長1・2）			2								2
	1 課 庶 務 係					2		1	1			4
	2 課 庶 務 係					1	1	1	1			4
	予防指導課（1・2）				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1		1	1		1	4
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1	1			4
	消 防 課 （ 1 ・ 2 ）				2							2
	1 課 消 防 係					1	1	1				3
	2 課 消 防 係					1	1	1				3
	1 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	2 課 救 急 係					1	1		1		1	4
	北 分 署 （ 1 ・ 2 ）				2							2
	消 防 係 （ 第 1 ）					1	1	1	1		1	5
	消 防 係 （ 第 2 ）					1	1	1	1			4
	救 急 係 （ 第 1 ）					1	1	1	1		1	5
	救 急 係 （ 第 2 ）					1	1	1	1			4
小 計		0	1	2	6	13	10	11	10	0	4	57
神 埼 消 防 署	署 長		1									1
	庶務課（副署長1・2）			2						1		3
	1 課 庶 務 係					2			1		1	4
	2 課 庶 務 係					1	1	1			1	4
	予防指導課（1・2）				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1	1			4
	2 課 予 防 指 導 係					2		1	1			4
	消 防 課 （ 1 ・ 2 ）			2								2
	1 課 消 防 係				1		1		2			4
	2 課 消 防 係					1	1	1	1			4
	1 課 救 急 係				1	1	1	1	1			5
	2 課 救 急 係						1	2				3
	1 課 三 脊 出 張 所					1	1	1	1		1	5
	2 課 三 脊 出 張 所				1	1	1	1	1		1	6
	1 課 吉 野 ケ 里 出 張 所					1		2	1			4
	2 課 吉 野 ケ 里 出 張 所					1	1	1	2			5
小 計		0	1	4	5	12	9	12	12	1	4	60
合 計		1	7	30	57	94	84	73	77	3	28	454

年齢別職員数

令和3年4月1日現在

階級 年齢	正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	計	人
30歳未満	18									0	
	19							2		2	
	20							6		6	
	21							3		3	
	22							6		6	
	23							9		9	
	24							12		12	
	25							13		13	
	26						2	8		10	
	27						4	5		9	
40歳未満	28						8	5		13	
	29						17	3		20	
	30					1	7	2		10	
	31					5	15	3		23	
	32					14	4			18	
	33					14	6			20	
	34				1	9	5			15	
	35				2	9				11	
	36				3	10	4			17	
	37				3	7	1			11	
50歳未満	38				6	5				11	
	39				5					5	
	40				4	1				5	
	41				8					8	
	42				10	1				11	
	43				4					4	
	44			1	5	1				7	
	45			3	5	3				11	
	46			8	13	1				22	
	47			8	2				1	11	
60歳未満	48			7	9					16	
	49			5	1	1				7	
	50			9	5	1				15	
	51			5	1					6	
	52		5	5	3				1	14	
	53		2	1					1	4	
	54		1							1	
	55		5	2	1	1				9	
	56		5	2	1					8	
	57		6							6	
60歳以上	58		1	3	2					6	
	59	1	6	3						10	
	60					4				4	
	61					9				9	
	62					5				5	
	63					7				7	
	64			1		3				4	
計		1	7	30	57	93	113	73	77	3	454
平均年齢		59.0	58.9	55.6	49.3	43.8	42.2	30.5	24.6	50.7	39.8

勤続年数別職員数

令和3年4月1日現在

階級 年齢	正 監	監	司令 長	司 令	司令 補	士 長	副 士 長	士	事務 吏員	計	人
1年未満						1		11		12	10
1年								7	1	8	20
2年		1		1			1	9		12	
3年								15		15	
4年								13		13	
5年							2	7		9	
6年							4	4		8	
7年							11	6		17	
8年						1	14	3		18	
9年						4	18	1		23	
10年						6	10			16	
11年						11	4	1		16	
12年					2	17	4			23	
13年					2	21	2			25	
14年					6	13	3			22	
15年					9	2				11	
16年					2					2	
17年					2					2	
18年					3					3	
19年					3					3	
20年					6	1				7	
21年				1	10					11	
22年				1	4	1				6	
23年				3	4	2			1	10	
24年					1					1	
25年				1	4					5	
26年				3	6	1				10	
27年				5	6	4				15	
28年				17	10				1	28	
29年				10	1					11	
30年			2	8	7	1				18	
31年			1	2	1					4	
32年			1	2		2				5	
33年			1	2						3	
34年		1	8		1	1				11	
35年			1							1	
36年			1							1	
37年		1	5	1	1	3				11	
38年		2	6			4				12	
39年						1				1	
40年		2	4		2	4				12	
41年	1									1	
42年										0	
43年						5				5	
44年						5				5	
45年						2				2	
計	1	7	30	57	93	113	73	77	3	452	
平均勤続年数	41.0	32.7	35.7	27.8	22.6	19.9	8.9	3.5	17.3	23.3	

職員の特殊技能 ・ 資格取得状況

令和3年4月1日現在

階 級 資 格 名		司令 以上	司令補	士 長	副士長	士	計
車 両	大型自動車（Ⅰ種）	74	77	78	24	3	256
	大型自動車（Ⅱ種）	2	1	2	1	0	6
	中型自動車	2	10	71	55	22	160
無 線	陸上特殊無線技士(第1級)	19	5	12	0	0	36
	陸上特殊無線技士(第2級)	87	67	31	4	1	190
	陸上特殊無線技士(第3級)	0	25	75	69	59	228
救 急	救 急 救 命 士	28	40	34	18	5	125
	気管内挿管資格取得者	5	8	5	1	0	19
	薬剤投与資格取得者	25	38	29	17	5	114
	救 急 標 準 課 程	24	63	73	63	61	284
	救 急 Ⅱ 課 程	58	28	25	0	0	111
	救 急 Ⅰ 課 程	33	25	27	0	0	85
救 助	玉 掛 技 能 士	71	78	72	57	62	340
	ク レ ー ン 技 能 士	80	80	102	73	65	400
	ア ー ク 溶 接 士	32	14	5	0	0	51
	ガ ス 溶 接 士	48	55	47	6	0	156
	小 型 船 舶 操 縦 士	30	26	24	4	1	85
	潜 水 士	85	91	104	73	65	418
	水 上 安 全 法 指 導 員	1	1	1	0	0	3
	酸素欠乏危険作業主任者	82	92	96	73	65	408
建 築 ・ 予 防	2 級 建 築 士	1	0	0	0	0	1
	予 防 技 術 者 検 定	48	38	62	31	13	192
	電 気 工 事 士	3	5	4	2	2	16
	消 防 設 備 士 （甲）	3	4	1	0	0	8
	消 防 設 備 士 （乙）	5	11	8	2	0	26
	危 険 物 取 扱 者 （甲）	0	1	3	0	0	4
	危 険 物 取 扱 者 （乙）	17	20	28	10	8	83
	危 険 物 取 扱 者 （丙）	4	14	3	0	0	21
	毒 物 劇 物 取 扱 者	3	0	1	0	0	4
そ の 他	衛 生 管 理 者	13	0	1	0	0	14
	特定化学物質作業主任者	20	28	9	0	0	57

消防音楽隊

(1) 概 要

音楽を通じて市民の火災予防思想の普及を図り、併せて消防職員の士気の高揚と情操の育成に資することを目的として、昭和44年5月1日に同好者23名で音楽部を結成した。逐年の活動の結果、各種行事での演奏の機会も多くなり、消防広報を更に効果的なものにするため、昭和48年8月1日に音楽隊の設置規程を制定し、名称も佐賀市消防音楽隊として正式に発足した。昭和57年3月には同規程の一部を改正して、消防団員も音楽隊員に委嘱することができるようにし職団員をもって消防広報に活躍している。平成12年4月1日佐賀広域消防局発足と同時に名称変更が行われ、『佐賀広域消防局消防音楽隊』となった。

平成26年4月からは、消防職団員以外の者も広く音楽隊員に委嘱できるようにした。現在は、週一回の定期的な合同練習を行い、各種演奏出場に備えている。

(2) 編 成

令和3年4月1日現在

楽 器 名 等	職 員			講 師	一 般	人 員 計
	隊長	副隊長	隊 員		隊 員	
指 揮				1		1
フ ル ー ト (ピッコロ)					4 (2)	4 (2)
クラリネット (バスクラリネット)			2		3 (1)	5 (1)
アルトサクソフォン テナーサクソフォン バリトンサクソフォン			2		3 (2)	5 (2)
トランペット			2		5 (1)	7 (1)
ホ ル ン					2	2
トロンボーン		1	1		2 (2)	4 (2)
ユーフォニウム			1 (1)		2 (2)	3 (3)
チ ュ ー バ ベ ー ス	1		1 (1)		3	5 (1)
パーカッション			2		3	5
計	1	1	11 (2)	1	27 (10)	41 (12)

() 内はうち女性隊員数

(3) 令和2年の主な演奏出場

演奏月	行 事 名
1月	佐賀市消防団出初式
3月	佐賀県消防大会【中止】
8月	第49回佐賀城下栄の国まつり【中止】
9月	令和2年度 救急フェスタ【中止】
10月	空の日フェスタ
10月	多久消防署多久南西出張所落成式
10月	第36回三瀬村田舎と都市のふれあい祭り【中止】
10月	さが防火フェスタ2020【中止】
10月	2020サガ・ライトファンタジー【中止】
1月～12月	火災予防広報演奏会 (管内福祉施設ほか) 【中止】

消防団の概要

令和3年4月1日現在

市 町	団本部所在地	消防団長	団	分団	部	定員	実員
佐賀市	〒840-8501 佐賀市栄町1番1号 佐賀市役所 危機管理防災課 TEL:0952-40-7015 FAX:0952-24-3187	合 満 進	1	47	213	3,800	3,509 (77)
多久市	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22-1 佐賀広域消防局 多久消防署内 TEL:0952-75-2181 FAX:0952-75-2110	陣 内 成 和	1	5	18	400	367 (18)
小城市	〒845-8511 小城市三日月町長神田2312-2 小城市役所 防災対策課 TEL:0952-37-6119 FAX:0952-37-6163	下 村 一 寿	1	12	44	1,145	957 (16)
神崎市	〒842-8601 神崎市神埼町鶴3542番地1 神崎市役所 防災危機管理課 TEL:0952-37-0104 FAX:0952-52-1120	江 頭 文 則	1	9	52	1,020	976 (27)
吉野ヶ里町	〒842-8501 吉野ヶ里町吉田321番地2 吉野ヶ里町役場 総務課 TEL:0952-37-0330 FAX:0952-53-6571	馬 場 茂	1	9	23	499	462 (23)
合 計			5	82	350	6,864	6,271 (161)

() 内はうち女性団員数

消防団現勢

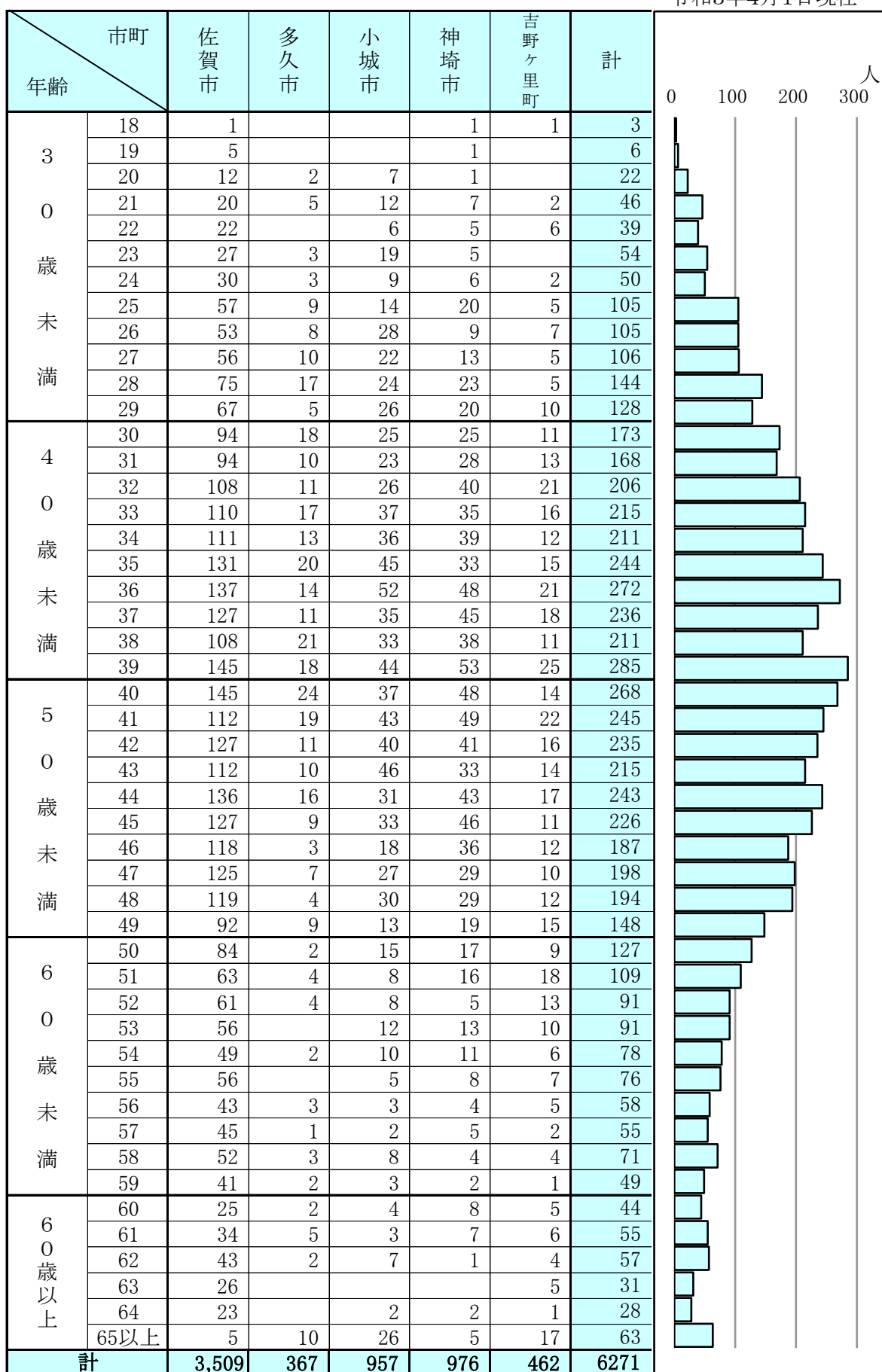
令和3年4月1日現在

区 市 町	人 員								消 防 機 械			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	ポン プ 車	ポン プ 小型 動力 積載 車	小型 動力 ポン プ	合 計
佐賀市	1	15	55	59	226 (7)	415 (14)	2,738 (56)	3,509 (77)	4	202		206
多久市	1	2	5	10	23 (1)	61 (1)	265 (16)	367 (18)	5	12		17
小城市	1	2	13	16	44 (1)	131 (2)	750 (13)	957 (16)	0	46		46
神崎市	1	3	9	36	53 (1)	165 (4)	709 (22)	976 (27)	1	52		53
吉野ヶ里町	1	3	8	10	23 (1)	74 (4)	343 (18)	462 (23)	7	15		22
合計	5	25	90	131	369 (11)	846 (25)	4,805 (125)	6,271 (161)	17	327		344

() 内はうち女性団員数

年齢別消防団員数

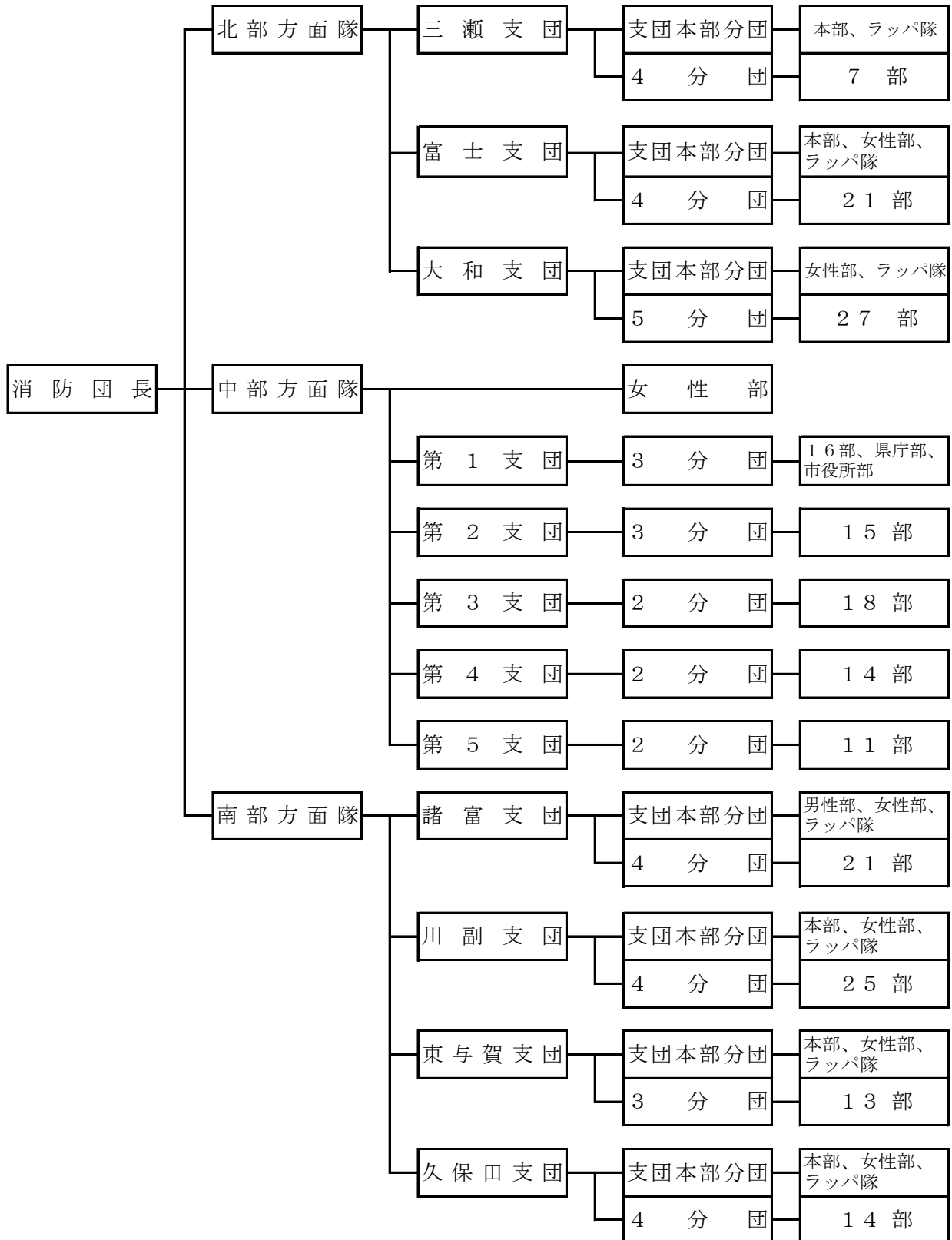
令和3年4月1日現在



消防団組織図

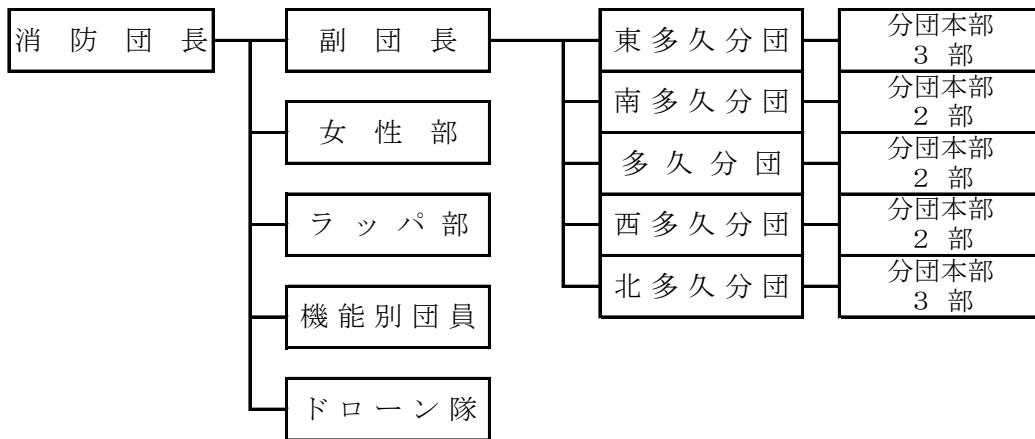
佐賀市消防団組織図

令和3年4月1日現在



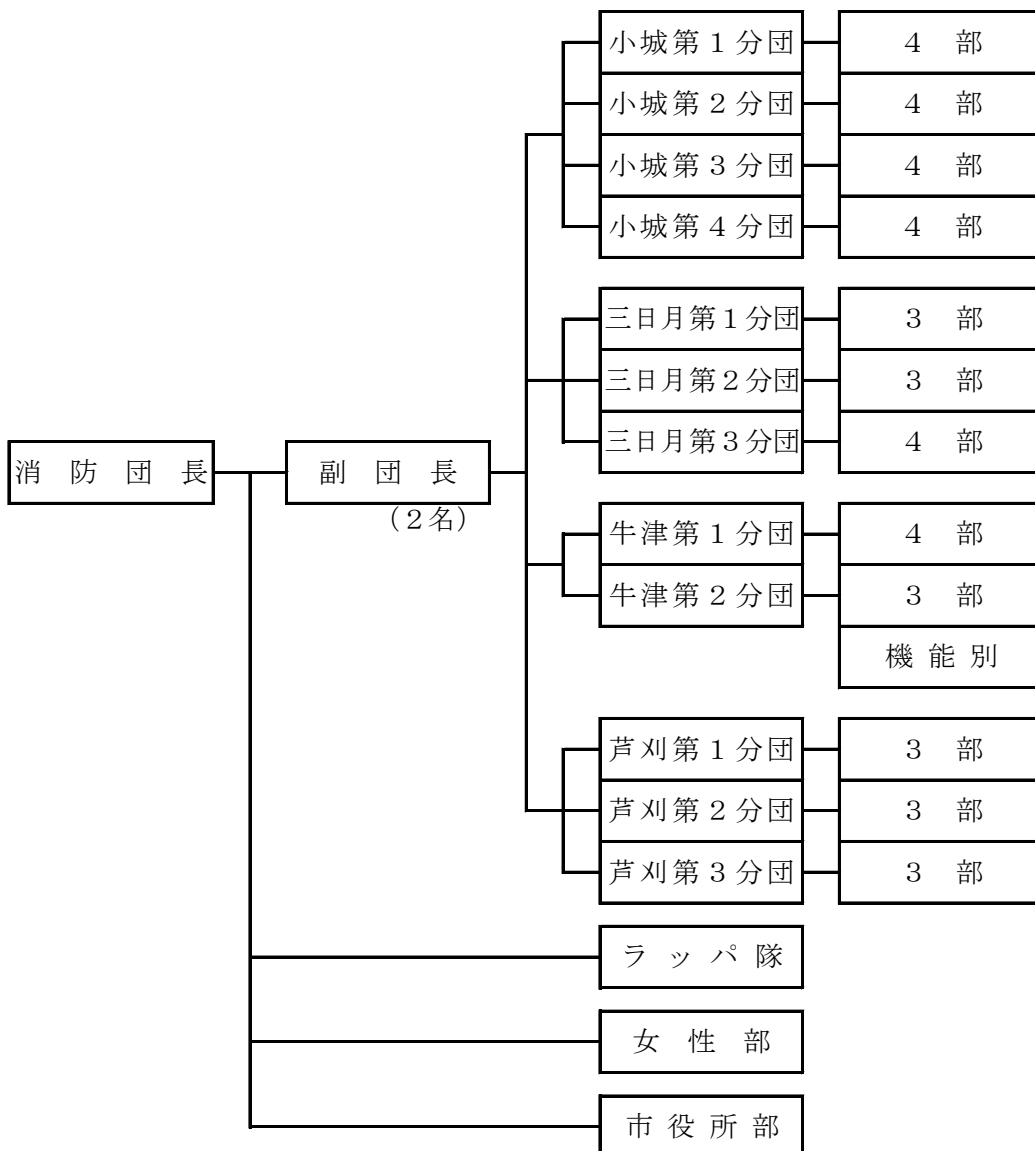
多久市消防団組織図

令和3年4月1日現在



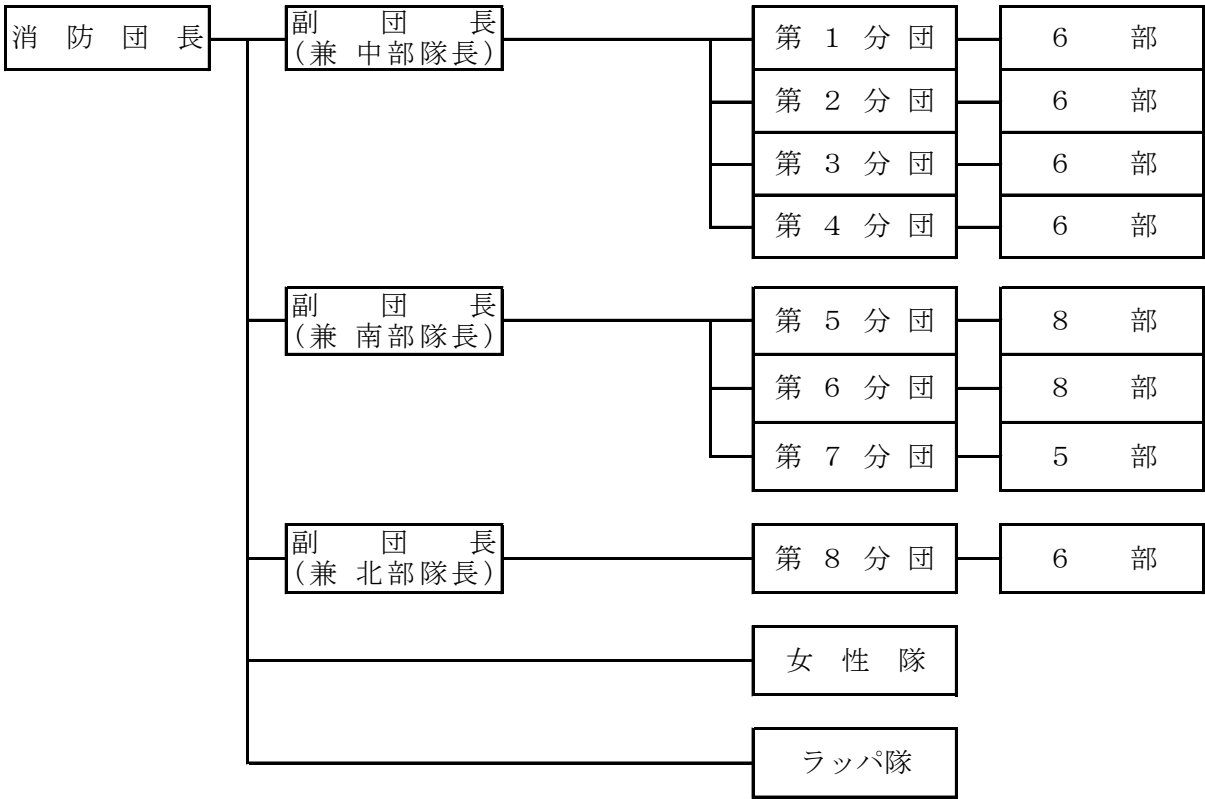
小城市消防団組織図

令和3年4月1日現在



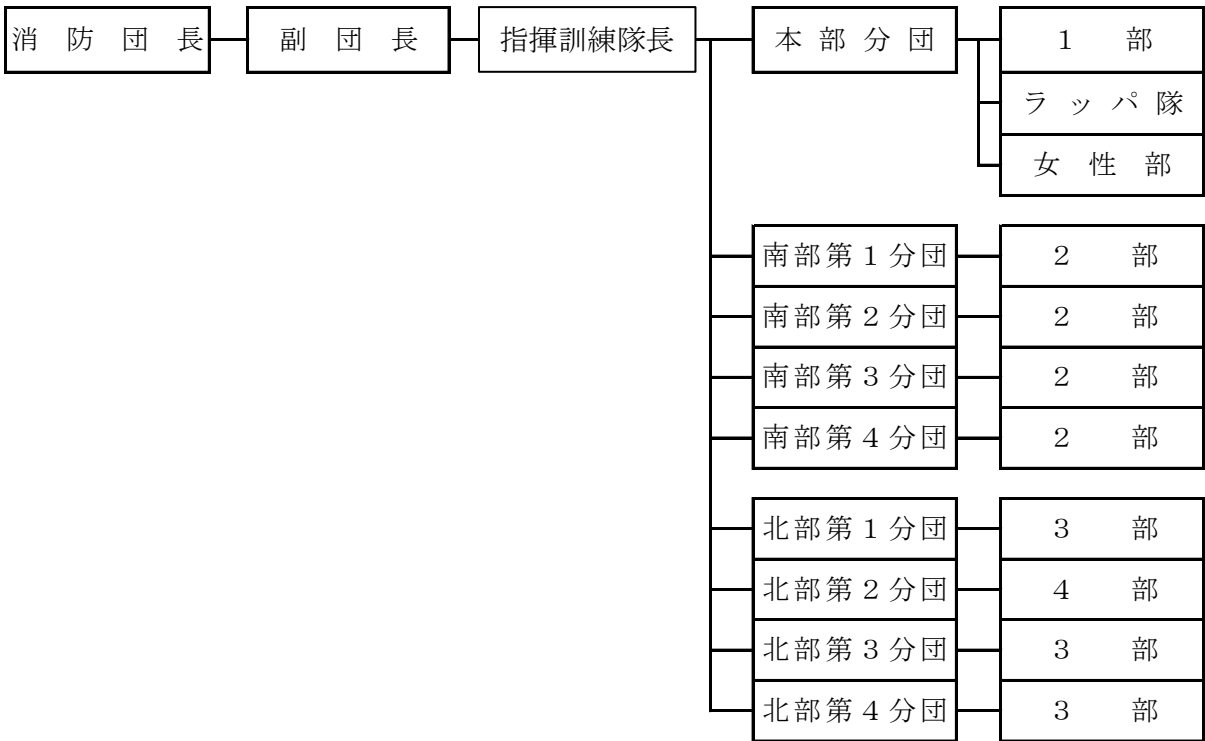
神崎市消防団組織図

令和 3 年 4 月 1 日現在



吉野ヶ里町消防団組織図

令和 3 年 4 月 1 日現在



○ 予 防



建築物申請処理状況

令和2年度中

市 町 申 請		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
処理 状況	同 意 (指 導 無)	267	13	31	55	32	398
	同 意 (指 導 有)	61	11	8	0	1	81
	許 可 申 請 書	7		1	1	2	11
計		335	24	40	56	35	490
内 訳	新 築	238	18	31	41	24	352
	増 築	86	5	6	12	10	119
	改 築	6		2	1		9
	増 改 築		1			1	2
	模 様 替						
	用 途 変 更	5		1	2		8
	大 修 繕						
	その他工作物						

用途別防火対象物使用開始届出状況

令和2年度中

市 町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
用途	イ			1			1
	ロ	1					1
2	イ						
	ロ						
	ハ						
	ニ				1		1
3	イ						
	ロ	33	1	2	1		37
4		7		1			8
5	イ						
	ロ	9		5	1		15
6	イ	2	1				3
	ロ	4		1	1		6
	ハ	13	1	3	3		20
	ニ						
7		5	1				6
8							
9	イ						
	ロ						
10							
11		1		1			2
12	イ	2	3	1	4	2	12
	ロ						
13	イ						
	ロ						
14		10	2	1	2	1	16
15		21	1	4	4	3	33
16	イ	41	2	5	1		49
	ロ	11	2	2			15
16の2							
17							
18							
19							
20							
計		160	14	27	18	6	225

防火対象物数

令和3年4月1日現在

市 町			佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
用 途								
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	19	2	1		2	24
	ロ	公会堂・集会場	87	13	24	8	7	139
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1					1
	ロ	遊技場・ダンスホール	13		3	3	2	21
	ハ	性風俗営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	8		2		3	13
3	イ	待合・料理店	5		3	7	4	19
	ロ	飲食店	612	33	71	49	48	813
4		百貨店・物品販売業	445	29	68	39	26	607
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	220	5	46	43	1	315
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3,228	67	271	206	160	3,932
6	イ	病院・診療所・助産所	242	14	30	28	26	340
	ロ	老人短期入所施設等	213	15	34	29	6	297
	ハ	老人デイサービスセンター等	342	34	53	32	15	476
	ニ	幼稚園・特別支援学校	73		2		2	77
7		学校・各種学校	369	26	47	48	12	502
8		図書館・博物館・美術館	18	2	3	1	5	29
9	イ	蒸気浴場等	4		1		7	12
	ロ	上記以外の公衆浴場	6					6
10		車両停車場・航空機発着場	2			1	1	4
11		神社・寺院・教会等	193	20	41	39	16	309
12	イ	工場又は作業場	921	148	182	190	148	1,589
	ロ	映画、テレビスタジオ	1					1
13	イ	自動車車庫・駐車場	169	11	25	15	3	223
	ロ	航空機等の格納庫	3				4	7
14		倉庫	876	116	169	169	112	1,442
15		前項に該当しない事業場	1,090	108	118	142	152	1,610
16	イ	特定複合用途防火対象物	615	36	46	33	11	741
	ロ	上記以外の複合用途	337	14	28	25	16	420
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡	13	4	4	3		24
18		50m以上のアーケード	2					2
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
計			10,127	697	1,272	1,110	789	13,995

中高層建築物(4階以上)

令和3年4月1日現在

市町 階・用途		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
4階		389	23	12	34	35	493
5階		227	5	9	4	8	253
6階		97	2		2	1	102
7階		63		2			65
8階		52			1		53
9階		34					34
10階		37		2			39
11階		17					17
12階		6					6
13階		9					9
14階以上		32					32
計		963	30	25	41	44	1,103
1	イ 劇場・映画館・観覧場等	3					3
	ロ 公会堂・集会場	4					4
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	3					3
	ハ 性風俗営業店舗等						
3	イ 待合・料理店						
	ロ 飲食店	10					10
4	百貨店・物品販売業	7		1			8
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	18	1	2		1	22
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	518	21	11	20	35	605
6	イ 病院・診療所・助産所	23	1	2	1		27
	ロ 老人短期入所施設等	7	2	3	3		15
	ハ 老人デイサービスセンター等	7					7
7	イ 幼稚園・特別支援学校						
	ロ 学校・各種学校	47		3	4		54
8	図書館・博物館・美術館	1					1
9	イ 蒸気浴場等						
	ロ 上記以外の公衆浴場						
10	車両停車場・航空機発着場						
11	神社・寺院・教会等	1					1
12	イ 工場又は作業場	15	1	1	2	4	23
	ロ 映画、テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	2					2
	ロ 航空機等の格納庫						
14	倉庫	7			1	1	9
15	前項に該当しない事業場	91	2		7	3	103
16	イ 特定複合用途防火対象物	122	2	2	1		127
	ロ 上記以外の複合用途	77			2		79
16の2	地下街						
17	重要文化財・史跡						
18	50m以上のアーケード						
19	市町村長の指定する山林						
20	総務省令で定める舟車						
専用住宅							

数量別危険物施設数

令和3年4月1日現在

区 分 数 量	製 造 所	貯 蔵 所							取扱所			計
		屋 内	屋 外	屋 内 タン ク	屋 外 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	給 油	販 売	一 般	
5倍以下		76		6	38	87	1	94	6	1	76	385
5倍超 10倍以下	2	26	11	2	34	60		2	13	1	31	182
10倍超 50倍以下	1	18	13	1	50	46		27	46	3	43	248
50倍超 100倍以下	3	4			26	5		1	22		8	69
100倍超 150倍以下	1				2	2			15			20
150倍超 200倍以下	1	2			5				29		3	40
200倍超 1,000倍以下	1	7			10	4			48		2	72
1,000倍超 5,000倍以下		4										4
計	9	137	24	9	165	204	1	124	179	5	163	1,020

危険物施設数

令和3年4月1日現在

市 町		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
区 分							
製 造 所		3		1		5	9
貯	屋 内	70	9	16	9	33	137
	屋 外		5		1	18	24
蔵	屋 内 タンク	3	1	1	3	1	9
	屋 外 タンク	74	11	22	20	38	165
	地 下 タンク	111	20	27	28	18	204
	簡 易 タンク	1					1
	移 動 タンク	66	5	13	18	22	124
取 扱 所	給 油	107	19	28	15	10	179
	販 売	5					5
	一 般	89	15	20	22	17	163
計		529	85	128	116	162	1,020

幼少年女性防火委員会

名 称	結成年月日	事 務 局
佐賀地区幼少年女性防火委員会	平成12年4月1日	佐賀広域消防局 予防課

委員会の設立

平成12年4月1日、佐賀広域消防局発足と同時に旧佐賀市消防本部、旧多久市消防本部、旧佐賀郡消防本部、旧小城地区消防本部の各幼少年女性防火委員会が統合し設置された。

平成25年4月1日、新に神埼地区消防本部と統合し、旧神埼地区消防本部の各幼少年女性防火委員会も統合された。

幼年・少年消防クラブ

1 結成状況

令和3年4月1日現在

市町	幼年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数	少年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	38	3,205	1	22
多久市	13	357	1	97
小城市	12	297	2	87
神埼市	8	914		
吉野ヶ里町	5	560	1	19
合 計	76クラブ	5,333名	5クラブ	225名

2 令和2年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
8	防災視察研修	佐賀市他
11	幼年消防クラブ員一日消防署体験	多久市
11	幼年消防クラブ員防火パレード	多久市

女性防火クラブ

1 結成状況

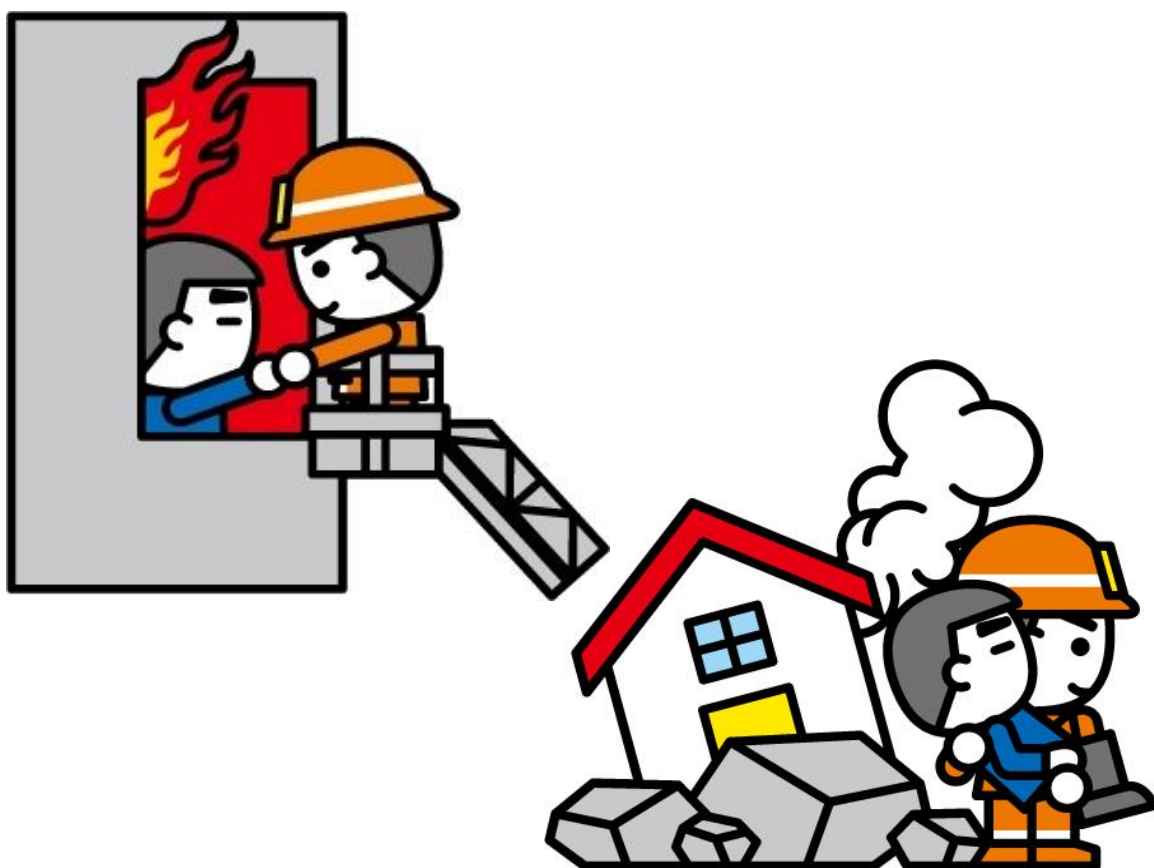
令和3年4月1日現在

市 町	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	1	7
合 計	1クラブ	7名

2 令和2年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
	活動なし	

○ 警 防



緊急消防援助隊の紹介

1 緊急消防援助隊とは

大規模災害や特殊災害が発生し、被災地の消防機関のみでは対応できないような場合に、全国の消防本部や航空隊が応援に駆け付けます。

この応援部隊が「緊急消防援助隊」です。

- (1) 契機：平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災
- (2) 創設：平成7年6月
- (3) 法制化：平成15年に成立【平成16年から施行】

2 全国の緊急消防援助隊の登録状況（2021年4月1日見込）

出典：総務省消防庁

部隊名	登録隊数	部隊名	登録隊数
指揮支援部隊	110隊	通信支援小隊	42隊
各部隊指揮隊	329隊	特殊災害小隊	368隊
消火小隊	2,407隊	特殊装備小隊	534隊
救助小隊	547隊	水上小隊	20隊
救急小隊	1,494隊	航空部隊	135隊
後方支援小隊	876隊	合計	6,862隊

○指揮支援部隊：指揮支援隊、航空指揮支援隊

○各部隊指揮隊：都道府県大隊、統合機動部隊、NBC災害即応部隊、エネルギー産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊

○航空部隊：航空小隊、航空後方支援小隊

3 佐賀広域消防局の登録状況

平成12年から緊急消防援助隊として登録しており、令和3年4月1日現在で、23隊84名が登録され、有事に備えています。

部隊名	登録隊数	登録人数	部隊名	登録隊数	登録人数
都道府県大隊 指揮隊	1隊	4名	救助小隊	2隊	10名
統合機動部隊 指揮隊	1隊	4名	救急小隊	4隊	12名
土砂・風水害機動支援部隊 指揮隊	1隊	4名	後方支援小隊	4隊	9名
NBC災害即応部隊 指揮隊	1隊	4名	特殊災害小隊	1隊	5名
消火小隊	6隊	24名	特殊装備小隊	2隊	8名

4 佐賀広域消防局の応援出動実績

(1) 東日本大震災（平成23年）

ア 派遣部隊：5隊19名

イ 派遣延べ人員：19名

ウ 派遣期間：平成23年3月14日～3月22日（9日間）



(2) 熊本地震（平成28年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：104名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成28年4月14日～3月24日（11日間）



(3) 九州北部豪雨（平成29年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：175名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成29年7月5日～7月25日（21日間）



(4) 令和2年7月豪雨

ア 派遣部隊：5隊17名

イ 派遣延べ人員：17名

ウ 派遣期間：令和2年7月4日～7月7日（4日間）



5 緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練

緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図るため、都道府県及び市町村の協力を得て、全国を6つのブロックに区分して、毎年地域ブロック合同訓練が実施されています。

○令和元年度九州ブロック合同訓練開催場所

宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 高原町総合運動公園



※令和2年度：新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となっています。

6 緊急消防援助隊ロゴマーク

緊急消防援助隊の結束力を一層強化し、その活動をより広く周知することなどを目的として、消防庁においてロゴマークが作成されました。救助活動に使用する消防の基本ツールであるカラビナをモチーフとしています。



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

消防水利の状況

令和3年4月1日現在

水利種別 市 町	消 火 栓		防 火 水 槽				計
	公 設	私 設	公 設		私 設		
			40m ³ 以上	40m ³ 未満	40m ³ 以上	40m ³ 未満	
佐 賀 市	2,239	260	378	98	12		2,987
多 久 市	283		223	38			544
小 城 市	664		69	36			769
神 埼 市	512		39	31			582
吉 野ヶ里町	250		92	10	6	3	361
計	3,948	260	801	213	18	3	5,243

応急手当普及啓発活動実施状況

令和2年中

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
佐賀消防署	救命講習	件 数	1	4					4		3	2		1	15
		受講人員	19	87					61		42	32		19	260
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件 数	7	4				1	4	2	5	2		2	27
		受講人員	308	75				11	90	40	92	46		139	801
多久消防署	救命講習	件 数	1					1		1	2	2	1		8
		受講人員	2					5		10	13	31	10		71
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件 数		1					2	1		1			5
		受講人員		23					19	52		30			124
南部消防署	救命講習	件 数	1						1	2	1	1	1		7
		受講人員	5						8	10	12	10	10		55
	その他の普及啓発活動	件 数		4	1				1	2			1		9
		受講人員		131	2				15	36			19		203
北部消防署	普通救命講習	件 数							1	3		1	1	1	7
		受講人員							19	69		21	4	9	122
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件 数	1	1					1			2	1	2	8
		受講人員	50	35					12			48	20	71	236
小城消防署	救命講習	件 数		1					1		1	1		1	5
		受講人員		4					10		4	11		9	38
	その他の普及啓発活動	件 数	2	2				2	1	4	2	1	5		19
		受講人員	45	274				22	20	89	78	17	390		935
神埼消防署	救命講習	件 数	1	2					2		2		2	1	10
		受講人員	10	37					24		24		42	15	152
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件 数	1		4			2	1	6			2	1	17
		受講人員	20		9			73	19	92			150	13	376
合 計	救命講習	件 数	4	7				1	9	6	9	7	5	4	52
		受講人員	36	128				5	122	89	95	105	66	52	698
	その他の普及啓発活動	件 数	11	12	5			5	10	15	7	6	9	5	85
		受講人員	423	538	11			106	175	309	170	141	579	223	2675

《救命講習》心肺蘇生法(AED含む)や止血法などを指導する講習で、修了証を発行しています。

《その他の普及啓発活動》住民、団体からの要望に合わせた応急手当の講習会や応急手当の指導員を養成する講習等です。

○ 救急講習の概要

講習種別	講習時間	講習内容	修了証の交付
普通救命講習Ⅰ	3時間	心肺蘇生法(主に成人)、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
普通救命講習Ⅱ	4時間	普通救命講習Ⅰに筆記・実技試験が加わります。	あり
普通救命講習Ⅲ	3時間	小児・乳児・新生児用の心肺蘇生法、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
上級救命講習	8時間	心肺蘇生法(成人・小児・乳児対象)、止血法、傷病者管理法、AED取扱、外傷の手当て、搬送法、異物除去。筆記・実技試験があります。	あり
その他の普及啓発活動	3時間未満	受講者のニーズに合わせた救命に関する講習です。	なし

○ 講習の様子



救マーク制度

宿泊施設、公共施設、スポーツ施設、店舗など、多数の方が利用する施設の従業員に対して救マーク講習を実施し、当該受講者が施設に常駐することで、利用者に安心して利用できる施設であることを表示するもので、平成17年7月1日から施行しています。講習内容については、普通救命講習Ⅱ（普通救命講習Ⅰ＋筆記・実技試験）を行っています。（4時間）

○ 施設別救マーク交付状況

用 途	計
宿 泊 施 設	15
公 共 施 設	14
スポーツ施設	8
店 舗	5
そ の 他	3
計	45

○ 市町別救マーク交付状況

市 町	計
佐 賀 市	34
多 久 市	3
小 城 市	7
神 埼 市	
吉 野 ヲ 里 町	1
計	45

救急資器材保有状況

令和3年4月1日現在

署 資 機 材		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	計	署 資 機 材		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	計
観 察 用 資 器 材	患者監視用モニター	5	1	2	3	3	4	18	訓 練 用 資 器 材	心肺蘇生法訓練用人形（成人用）	11	6	6	6	6	9	44
	血中酸素飽和度測定器	7	2	4	4	3	4	24		心肺蘇生法訓練用人形（小児用）	12	7	5	8	6	8	46
	血 糖 測 定 器	5	2	3	3	3	4	20		心肺蘇生法訓練用人形（乳児用）	12	6	5	8	5	8	44
	体 温 計	19	9	9	10	13	19	79		胸骨圧迫トレーニングツール	40	40	40	39	40	40	239
	血 圧 計	15	2	6	6	7	6	42		AED ト レ ー ナ ー	12	6	6	6	6	9	45
処 置 用 資 器 材	電 動 式 吸 引 器	8	3	4	5	4	8	32	器 材	気道管理トレーナー（成人用）						1	1
	自 動 心 肺 蘇 生 器		1		2		1	4		高度救命処置シミュレーター	4	2	2	2	2	3	15
	全 身 固 定 用 具	13	8	9	10	7	10	57		外傷モデルキット						1	1
	上半身脊柱固定用具	4	2	1	2	2	5	16	消 毒 用 資 器 材	オ ズ ン 殺 菌 装 置		1					1
	半自動式除細動器	5	2	2	3	4	4	20		オートクレープ殺菌器						1	1
	自動式人工呼吸器	5	2	2	3	3	4	19		低濃度オゾンガス生成装置	3	2	2	2	3	3	15

※¹ 訓練用の資器材は除く。

※² 血圧計は、車両に設置されているものを除く。

※³ 上半身脊柱固定用具：ショートボード、KED等

救助資機材保有状況

令和3年4月1日現在

署 資器材		佐賀 消防署	多 久 消防署	南 部 消防署	北 部 消防署	小 城 消防署	神 埼 消防署	計	署 資器材		佐賀 消防署	多 久 消防署	南 部 消防署	北 部 消防署	小 城 消防署	神 埼 消防署	計
一般 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	8	3	2	3	3	4	23	重量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ	6		3	6	10	3	28
	三連はしご	10						10		油圧スプレッダー	2	2	2	1	3	3	13
	金属製折りたたみはしご			1				1		可搬ウインチ	3	2	3	2	2	3	15
	空気式救助マット	1				1	1	3		マット型空気ジャッキ	5		1	1	1	3	11
	救命索発射銃	1	1	1	2	1	1	7		マンホール救助器具					1	1	2
	救助用縛帯	17	3	3	2	6	5	36	破 壊 用 器 具	万能斧	37	11	13	15	15	24	115
高度 救 助 用 器 具	画像探索機	2				1		3		携帯用コンクリート破壊器具	1	1	2	1	2	1	8
	地中音響探知機	1				1		2		削岩機	3				4		7
	熱画像直視装置	2	1	1	1	2	1	8		ハンマードリル	1				3		4
	夜間用暗視装置	1				1		2		空気呼吸器	56	22	23	19	27	25	172
	地震警報器	1				1		2	呼 吸 保 護 用 器 具	酸素呼吸器	5				4		9
	電磁波探査装置	1				1		2		簡易呼吸器					2		2
切 断 用 器 具	油圧切断機	2	2	2	1	4	3	14		防塵マスク	19		3		2		24
	エンジンカッター	6	2	2	3	4	5	22		送排風機	2	1	1	1	1	1	7
	ガス溶断機	2		1			1	4		エアラインマスク一式	2						2
	チェーンソー	4	3	3	6	6	7	29	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具				15			15
	鉄線カッター	15	3	12	7	9	12	58		救命胴衣	54	21	25	44	31	34	209
	空気鋸	1	1		1	2	1	6		水中投光器				18			18
測 定 用 器 具	アークエアー溶断機							0		救命浮環	13	2	7	3	2	4	31
	可燃性ガス測定器	6	2	2	2	3	3	18		浮標	2			2	2		6
	有毒ガス測定器	1				1	1	3	そ の 他 の 救 助 用 器 具	救命ボート	2	2	2	3	3	2	14
隊 員 保 護 用 器 具	放射線測定器	22	10	13	13	10	6	74		船外機		1		2	1	1	5
	耐電手袋	10	3	6	4	5	4	32		投光器	15	6	4	5	6	8	44
	耐電衣	8	3	3	1	2	1	18		携帯投光器	19		4	9	12		44
	耐電ズボン	8	3	3	1		1	16		携帯拡声器	25	10	14	11	9	13	82
	耐電長靴	8	1	2	1	2	1	15		携帯無線機	32	14	15	12	19	20	112
	化学防護服	51	31	48	47	67	101	345		応急処置用セット	3	2	2	3	4	2	16
	防塵メガネ	8						8		緩降機	1						1
	携帯警報器	7	9	7	4	21	20	68	救 助 用 器 具	バスケット型担架	2	2	2	3	2	2	13
	防毒マスク	17		13		7	11	48		発電機	17	6	8	5	7	10	53
	耐熱服	4		7			5	16		救助用支柱器具	1						1

国際消防救助隊の紹介

1 国際消防救助隊とは

海外における大規模災害発生時に、被災国等からの要請を受けて派遣される国際緊急援助隊救助チーム（JDR）のうち、消防機関で構成する救助チームのことを「国際消防救助隊」と言います。

国際消防救助隊は、全国の消防本部のうち、一定の要件を満たした77消防本部599名の救助隊員が登録されています。

2 佐賀広域消防局の隊員登録等

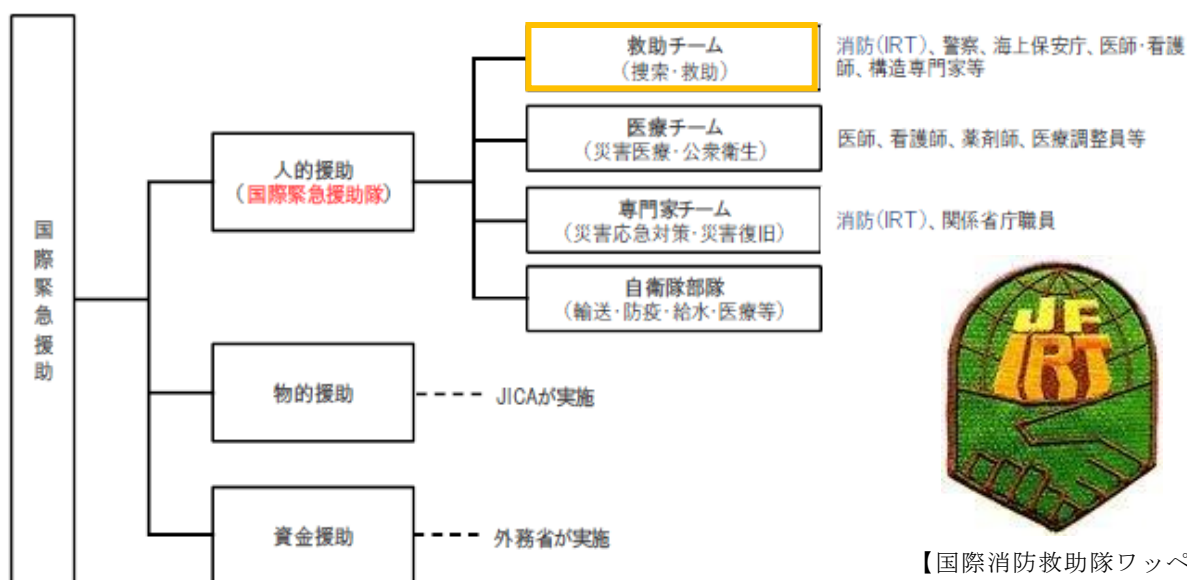
国際消防救助隊の更なる搜索、救助体制の充実強化を目的として、平成21年10月に「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」が改正されました。

これを受け、協力市町村として登録申請を行い、同年協力市町村として登録されました。

現在、佐賀消防署に配置している高度救助隊20名の中から6名が登録されています。

3 国際緊急援助隊の組織

国際緊急援助隊は、外務省、警察庁、消防庁、海上保安庁及び国際協力機構（JICA）の業務調整員並びに国際協力機構に登録している医療班、構造評価専門家で組織され、救助隊員は、消防庁、警察庁及び海上保安庁の3庁で構成されています。



4 国際消防救助隊の派遣実績

海外への災害派遣は、1987年の「国際緊急援助隊の派遣に関する法律（通称JDR法）」施行前の2回を含めると、これまでに20回、384名の救助隊員が派遣されています。

近年では、平成29年9月に発生したメキシコ地震災害において、メキシコ政府からの援助要請に対し、17名が派遣されています。

※ 現在のところ、佐賀広域消防局からの派遣実績はありません。

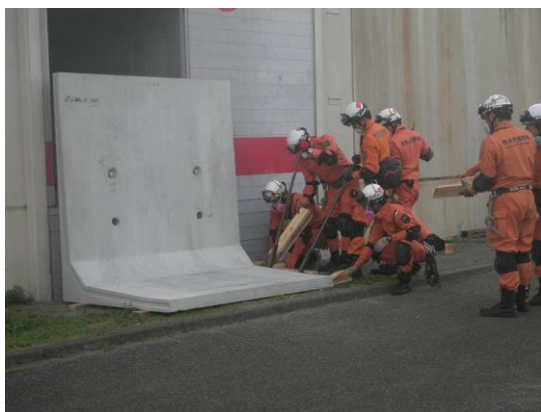
5 国際消防救助隊の訓練

(1) 国際消防救助隊連携訓練

国際消防救助隊員として必要とされる基礎的活動技術、知識の習得及び登録隊員相互の連携強化を図ることを目的に、毎年全国2か所で全ての登録消防本部が参加する連携訓練が実施されています。

(2) 九州地区国際消防救助隊合同訓練

毎年、九州7県の9登録消防本部が参加する合同訓練が実施されています。



IRT派遣実績					
	派遣年月日	災害名	被災地	被害状況	消防としての派遣実績、活動概要等
1	昭61.8.27～9.6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700名以上	救助隊員1名(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導
2	昭61.10.11～10.20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226名 倒壊家屋 3万戸	救助隊員9名(東京消防庁5名、横浜市消防局3名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
3	平2.6.22～7.2 (11日間)	イラン地震災害	イランイスラム共和国 カスピ海	死者 80,000名以上	救助隊員6名(東京消防庁5名、消防庁1名) 倒壊家屋からの救助
4	平2.7.18～7.26 (9日間)	フィリピン地震 災害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者 1,600名以上	救助隊員11名(東京消防庁2名、名古屋市消防局4名、 広島市消防局4名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
5	平3.5.15～6.6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ 人民共和国	死者 約13万名	救助隊員38名(東京消防庁17名、大阪市消防局11名、 川崎市消防局4名、神戸市消防局4名、消防庁2名)及び ヘリコプター2機 被災民への救援物資の輸送等を実施
6	平5.12.13～12.20 (8日間)	マレーシア ビル倒壊被害	マレーシア クアラルンプール郊外 ウルクラン地区	死者 48名 倒壊ビル 1棟	救助隊員11名(東京消防庁6名、名古屋市消防局2名、 北九州市消防局2名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
7	平8.10.30～11.6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64名 崩壊ビル 1棟	救助隊員9名(東京消防庁3名、札幌市消防局2名、大阪 市消防局2名、松戸市消防局1名、消防庁1名) 崩壊ビルからの救助
8	平9.10.22～11.11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 1万8千ha (ランブン州内)	救助隊員30名(東京消防庁19名、名古屋市消防局5名、 大阪市消防局3名、横浜市消防局2名、消防庁1名)及び ヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11.1.24～2.4 (12日間)	コロンビア 地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 約1,171名 負傷者 約4,765名	救助隊員15名(東京消防庁8名、大阪市消防局2名、千 葉市消防局2名、船橋市消防局2名、消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
10	平11.8.17～8.24 (8日間)	トルコ地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者 約15,370名 負傷者 約23,954名	救助隊員25名(東京消防庁12名、川崎市消防局4名、神 戸市消防局4名、市川市消防局2名、尼崎市消防局2名、 消防庁1名) 倒壊ビルからの救助
11	平11.9.21～9.28 (8日間)	台湾地震災害	台湾中部	死者 約2,333名 負傷者 10,002名	救助隊員46名(東京消防庁18名、仙台市消防局4名、千 葉市消防局3名、京都市消防局4名及び川口市、松戸市、 新潟市、岡山市、倉敷市、佐世保市、鹿児島市消防局から 各2名、消防庁3名) 倒壊建物からの救助
12	平15.5.22～5.29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア 民主人民共和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266名 負傷者 10,000名以上	救助隊17名(東京消防庁8名、京都市消防局、仙台市消 防局、川口市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南 西部消防本部から各2名、消防庁1名) 倒壊建物からの救助
13	平16.2.25～3.1 (6日間)	モロッコ地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 564名以上 負傷者 約300名以上	救助隊員7名(東京消防庁4名、千葉市消防局1名、京都 市消防局1名、消防庁1名) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術 供与等を実施
14	平16.12.29～17.1.20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者 16万人以上	救助隊員46名(東京消防庁23名、大阪市消防局15名、 千葉市消防局2名、横浜市消防局1名、相模原市消防本 部1名、川越地区消防組合消防本部1名、消防庁3名)及 びヘリコプター2機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索技術指導等を実施
15	平17.10.9～17.10.18 (10日間)	パキスタン・イスラ ム共和国地震災害	パキスタン・イスラム 共和国 バトグラム周辺	死者 7万3,320名 負傷者 12万8,378名	救助隊員13名(東京消防庁6名、横浜市消防局3名、船 橋市消防局2名、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消 防本部1名、消防庁1名) 倒壊建物からの救助
16	平20.5.15～20.5.21 (7日間)	中国四川省におけ る 地震災害	中華人民共和国四川省 広元市周辺	死者 6万9,130名 負傷者 37万4,031名	救助隊員17名(東京消防庁6名、川崎市消防局3名、名 古屋市消防局3名、市川市消防局2名、藤沢市消防本部2 名、消防庁1名) 建物倒壊現場からの遭難者救助
17	平21.10.1～21.10.8 (8日間)	インドネシア 西スマトラ州 パダン沖地震災害	インドネシア共和国 パダン市周辺	死者 1,117名 負傷者約 2,900名	救助隊員17名(東京消防庁6名、札幌市消防局3名、福 岡市消防局3名、さいたま市消防局2名、横須賀市消防 本部2名、消防庁1名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか
18	平23.2.23～23.3.12 (18日間)	ニュージーランド南 島 地震災害	ニュージーランド クライストチャーチ市	死者 181名 負傷者 約2,000名	救助隊員33名(東京消防庁16名、京都市消防局3名、千 葉市消防局3名、相模原市消防局2名、高松市消防本部2 名、新潟市消防局2名、福岡市消防局2名、消防庁3名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか
19	平27.4.26～27.5.9 (13日間)	ネパール地震災害	ネパール共和国 ガンダキ県周辺	死者 8,567名 負傷者 15,269名	救助隊員17名(東京消防庁6名、さいたま市消防局3名、浜松市 消防局3名、川越地区消防局1名、秋田市消防 本部1名、高崎市等広域消防局1名、富山市消防局1名、消防庁1 名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか
20	平29.9.21～29.9.28 (8日間)	メキシコ地震災害	メキシコ合衆国	死者 369名 負傷者 8,843名	救助隊員17名(東京消防庁6名、仙台市消防局3名、京都市消 防局3名、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部1名、 豊中市消防局1名、和歌山市消防局1名、高知市消防局1名、消 防庁1名) 建物倒壊現場での遭難者救助ほか

※第1回及び第2回の派遣は、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」の施行前であり、消防庁単独での派遣である。

○通信



指令管制業務の概要

指令管制業務は、消防活動の中核的役割を果たすもので、災害通報の受付、伝達、情報収集等あらゆる災害に迅速な対応が求められています。

佐賀広域消防局では、これらに応えるため、令和3年4月に「高機能消防指令センター」を運用開始し、今まで以上に災害点の把握、出動部隊の選択決定、出動指令・支援情報の提供、現場からの画像送信など効果的な運用を行い、増え続ける携帯電話からの通報にも、統合型位置情報通知システムの活用により、正確な通報場所特定、出動指令時間の短縮に効果を上げています。署所との連携強化として情報共有システムを導入し、最新の災害事案や車両運用状況、現場映像、防災ヘリからの映像など、多くの情報を共有し災害活動にあたる事が出来ます。

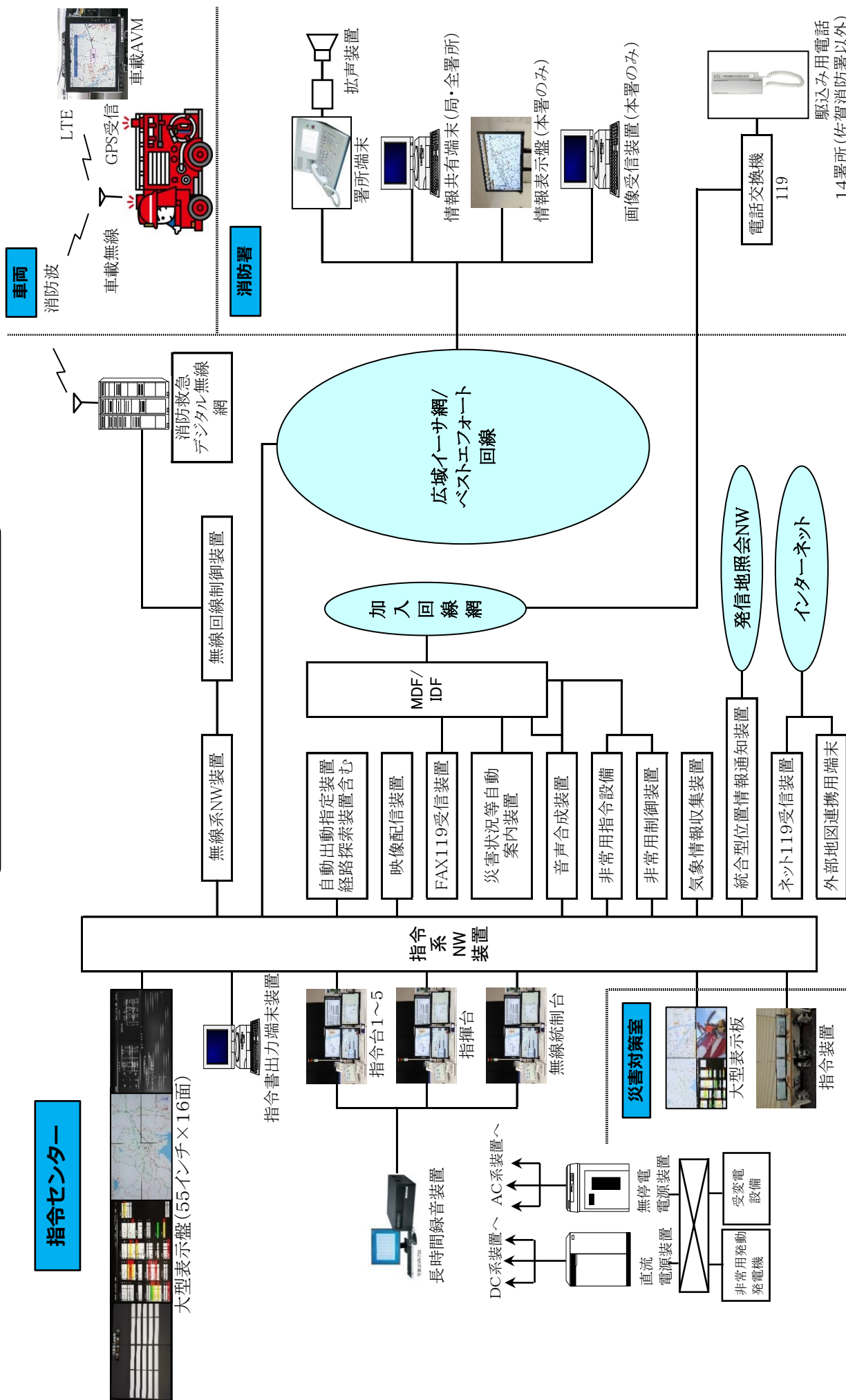
また、近年の気象状況変化にともない、多発する自然災害など、大規模災害時の対応として各指令台に輻輳モードを搭載、最大14席での受付業務の実施が可能となり、万一局庁舎が被災し業務継続が不可能な場合でも、可搬型指令システムを佐賀広域管内の消防署に運搬し、指令システムを構築、最低限の指令業務を継続することが可能となっています。

さらに、聴覚や発話に障がいをお持ちの方を対象とした Net119通報システムを導入しました。システム内容は、音声による119番通報が困難な方が、スマートフォンや携帯電話からチャット形式で「火災」「救急」「災害」などを選び通報するシステムとなります。

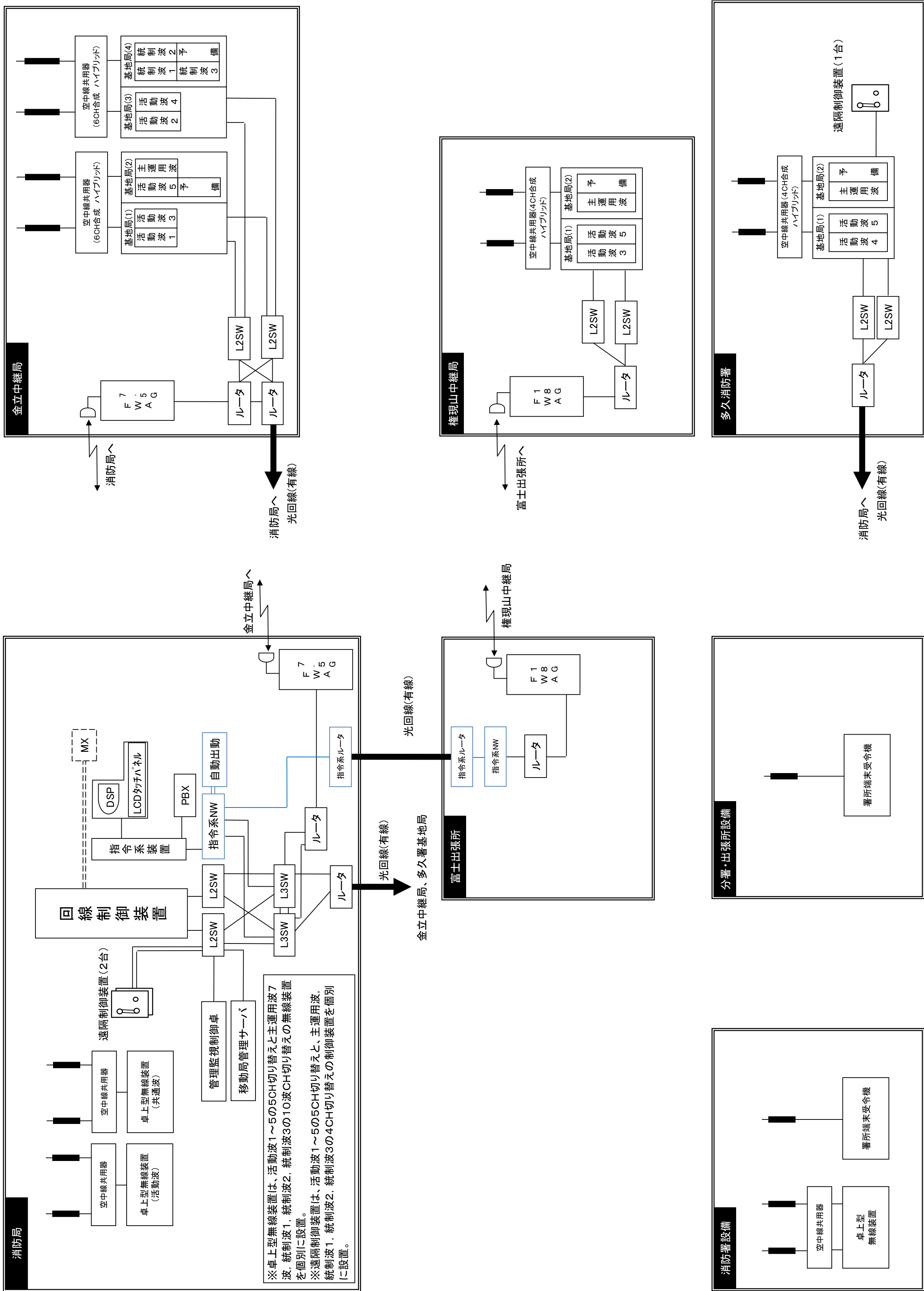
このような施設面における充実とともに、119番通報の中で最多を占める救急要請に対し、応急処置等の口頭指導を含め、重度傷病者の救命効果の向上を図っています。



指令管制システムの構成図



デジタル無線設備システム図



無線局の配置状況

[基地局・固定局] (デジタル)

令和3年4月1日現在

配 置	局 種 別	出 力	呼 出 符 号	数 量
金立山	基地	10w	きんりゅうしょうぼう	1
	固定(FWA)	5mw		1
権現山	基地	10w	ごんげんしょうぼう	1
	固定(FWA)	251mw		1
多久	基地	10w	たくしょうぼう	1
佐賀	固定(FWA)	5mw	さがしょうぼう	1
富士	固定(FWA)	251mw	ふじしょうぼう	1

[移動局] (デジタル)

令和3年4月1日現在

配 置	車両・携帯の別	出 力	主な識別信号	数 量
消防局	可搬型移動局	5w	さしょうかいはん	5
	卓上型固定移動局	5w	さしょうしれい	2
	車載型移動局	5w	さしょうほんぶ	6
	携帯型移動局	1w・2w・5w	さしょうほんぶ	6
	署活系	1w	さがしれい・さがほんぶ	15
佐賀消防署	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうしき・さしょうさが	17
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	5
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうさが	8
	署活系	1w	さが・にし・ひがし・ちゅうおう	24
多久消防署	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうたく	8
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうたく	4
	署活系	1w	たく	10
南部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうなんぶ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうなんぶ	8
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうなんぶ	5
	署活系	1w	なんぶ・くぼた	10
北部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうほくぶ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうほくぶ	9
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうほくぶ	5
	署活系	1w	ほくぶ・ふじ	10
小城消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうおぎ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうおぎ	9
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうおぎ	5
	署活系	1w	おぎ・おぎきた	14
神埼消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうかんだき	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうかんだき	8
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	4
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうかんだき	6
	署活系	1w	かんだき・よしのがり・さんせ	14

○ 統計



火災の種別

火災種別	摘 要
建物火災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
林野火災	森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
車両火災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
船舶火災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
航空機火災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
その他の火災	上記火災以外の火災をいう。

令和2年中の火災概要

令和2年中の火災発生件数は119件で、前年より6件減少しています。

火災種別ごとにみると、建物火災が58件(前年比;+1)、林野火災0件(前年比;-2)、車両火災14件(前年比;+1)、航空機火災0件(前年比;±0)、その他の火災47件(前年比;-6)となっています。

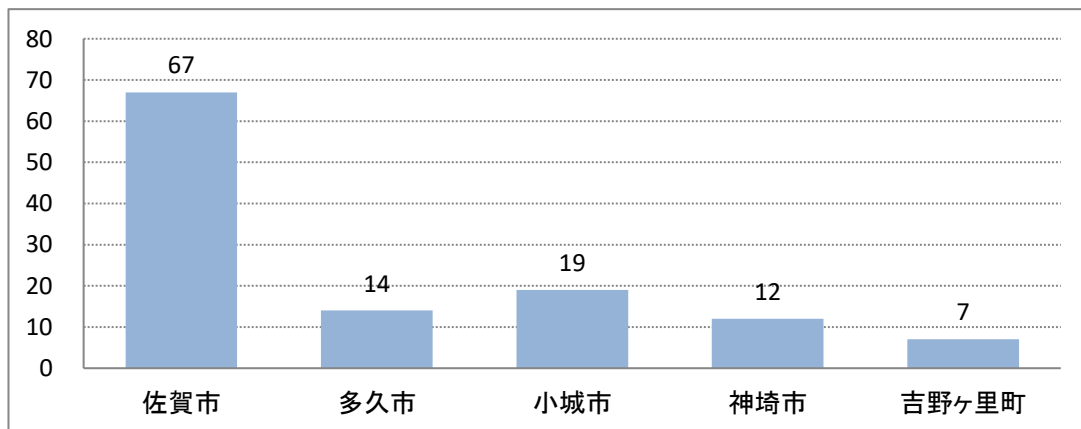
出火原因の1位は「火入れ」で20件(16.8%)、次に「放火」が9件(7.6%)、次いで「こんろ」が6件(5.0%)、更に「たばこ」が5件(4.2%)となっています。

火災による死者は6名で前年より1名増加しており、負傷者は20名で前年より2名増加となっています。

火災発生状況

令和2年中

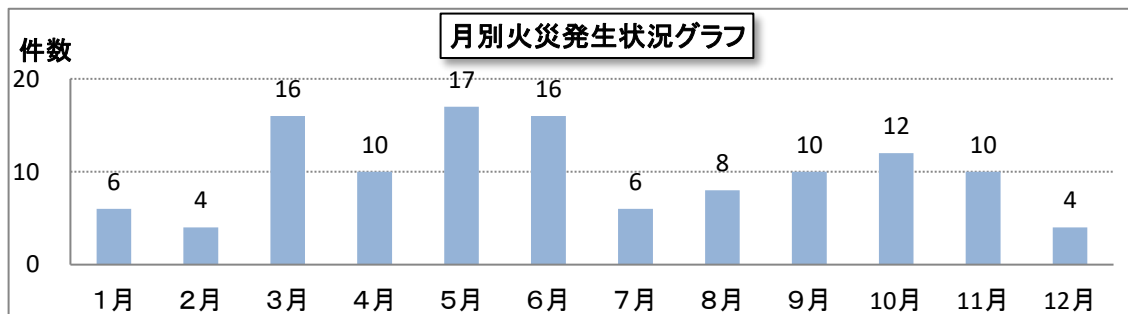
市 町 区 分			佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
火災 件 数	火災 種 別	建 物	37	4	10	5	2	58
		林 野						0
		車 両	6	3	3		2	14
		船 舶						0
		航 空 機						0
		そ の 他	24	7	6	7	3	47
		爆 発						0
	計		67	14	19	12	7	119
焼 損 棟 数	火 元	全 焼	8	1	1	2	1	13
		半 焼	1					1
		部 分 焼	6		4	3	1	14
		ぼ や	22	3	5			30
	類 焼	全 焼	6	1		1		8
		半 焼						0
		部 分 焼	9	1		3		13
		ぼ や	9				1	10
	計		61	6	10	9	3	89
	罹 災 世 帯	全 損	11	2		1	1	15
		半 損						0
		小 損	27	2	4	2	1	36
		計	38	4	4	3	2	51
罹 災 人 員	人 員		91	7	12	7	5	122
	死 者		3	2	1			6
	負 傷 者		16	1	1	2		20



月別用途別火災発生状況

令和2年中

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
用途	建物	3	2	2	1	6		1	2	3	1	1		22
	住宅	1						1						1
	併用住宅													
	共同住宅			4	1									5
	劇場													
	公会堂													
	キャバレー													
	遊技場				1									1
	性風俗													
	カラオケボックス													
	料理店													
	飲食店			2				1	1					4
	物品販売業													
	旅館・ホテル				1					1				2
	病院													
	グループホーム										1			1
	社会福祉施設													
	幼稚園													
	学校													
	図書館													
	特殊浴場													
	公衆浴場													
	停車場													
	神社・寺院											3		3
	工場・作業場					1	1	1						3
	スタジオ													
	駐車場													
	航空機・格納庫													
	倉庫													
	事務所													
	複合用途(特定)								1			1	1	3
	複合用途(非特定)			1				1	1		1	1		5
	地下街													
	準地下街													
	文化財													
	その他	1	2			2	1	1			1			8
小計		5	4	9	4	9	2	5	5	4	4	6	1	58
林野														
車両(自動車)				3	2	2	1			4	1		1	14
船舶														
航空機														
その他		1		4	4	6	13	1	3	2	7	4	2	47
小計		1		7	6	8	14	1	3	6	8	4	3	61
計		6	4	16	10	17	16	6	8	10	12	10	4	119



月別原因別火災発生状況

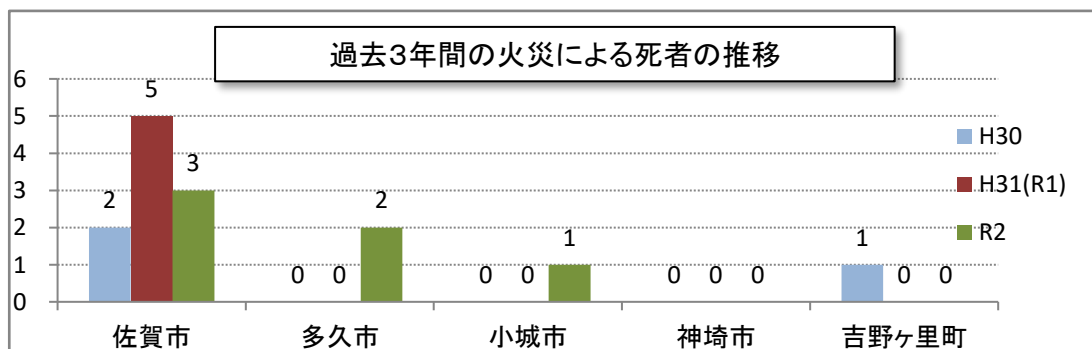
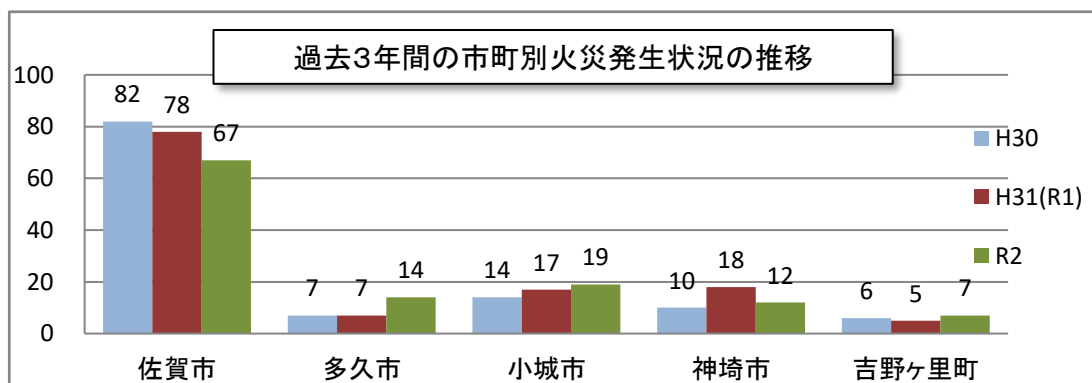
令和2年中

原因 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ				1			1			2	1		5
こんろ		1	2	1			1	1					6
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉				1									1
ストーブ	2	1		1									4
こたつ													
ボイラー									1				1
煙突・煙道													
排気管			1	1					1				3
電気機器	1								1	2			4
電気装置					1				1				2
電灯・電話配線									1	1	1		3
内燃機関			2										2
配線器具			1		2						1		4
火あそび			1										1
マッチ・ライター													
たき火		1		1							1		3
溶接機・切断機						1		1					2
灯火									1	1			2
衝突の火花												1	1
取灰													
火入れ			2	1	4	9				2		2	20
放火				1	1	2	2				3		9
放火の疑い					2	1							3
その他	1	1	5	1	6	3	2	4	4	3	3	1	34
不明・調査中	2		2	1	1			2		1			9
計	6	4	16	10	17	16	6	8	10	12	10	4	119

※「その他」には、雷、自然発火及び輻射熱によるものが含まれる。

過去3年間の火災発生状況

年・種別			市町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
平成30年	火災種別	建物		36	1	9	6	2	54
		林野		2	4				6
		車両		10	1	1	1	1	14
		船舶							0
		航空機					1		1
		その他		34	1	4	2	3	44
計	火災発生件数			82	7	14	10	6	119
	死者の数			2	0	0	0	1	3
(令和31元年)	火災種別	建物		38	1	8	9	1	57
		林野				1	1		2
		車両		6	2	2	1	2	13
		船舶							0
		航空機							0
		その他		34	4	6	7	2	53
計	火災発生件数			78	7	17	18	5	125
	死者の数			5	0	0	0	0	5
令和2年	火災種別	建物		37	4	10	5	2	58
		林野							0
		車両		6	3	3		2	14
		船舶							0
		航空機							0
		その他		24	7	6	7	3	47
計	火災発生件数			67	14	19	12	7	119
	死者の数			3	2	1	0	0	6



過去3年の火災原因

年	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位			
平成 30 年	火入れ	18	こんろ	7	たばこ	5	ストーブ	3	焼却炉	2		
							電気装置		排気管			
			放火の疑い		配線器具		電灯・電話配線		電気機器			
							溶接機・切断機		放火			
平成 31 年 (令和元年)	火入れ	16	たばこ	9	放火	8	放火の疑い	7	こんろ	6		
令和 2 年	火入れ	20	放火	9	こんろ	6	たばこ	5	ストーブ	4		
									電気機器			
									配線器具			

救急事故の種別

事 故 種 別	摘 要
火 災 事 故	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自 然 災 害 事 故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労 働 災 害 事 故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運 動 競 技 事 故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者等の事故（ただし観覧中のものが直接に運動競技用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一 般 負 傷 事 故	他に分類されない不慮の事故をいう。
加 害 事 故	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自 損 行 為 事 故	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急 病 事 故	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
そ の 他	転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

令和2年中の救急出動概要

令和2年中の救急出場件数は、13,934件（前年15,308件）、搬送人員は、12,916人（前年14,286人）で、前年に比べ出場件数が1,374件減、搬送人員は1,370人減となっています。

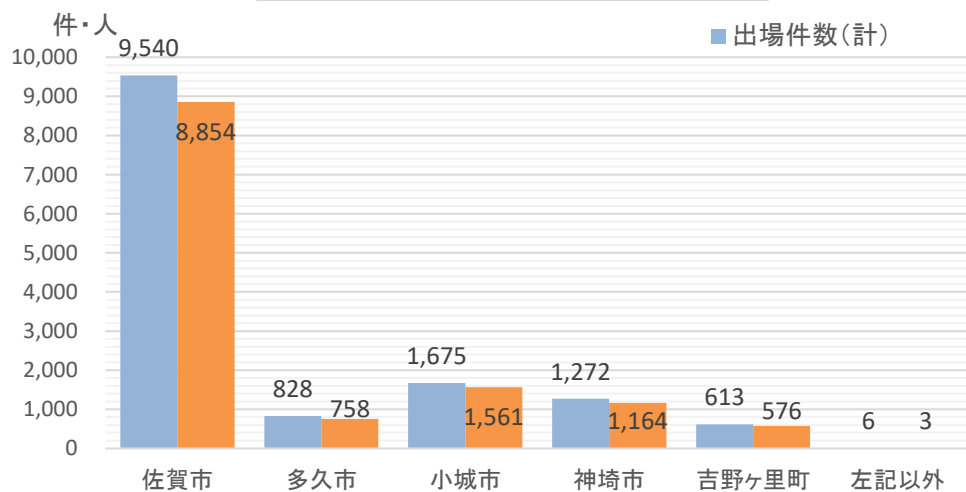
事故種別ごとにみると、「急病」が7,775件（55.8%）、次いで「その他（転院搬送）」2,001件（14.4%）、「一般負傷」1,870件（13.4%）、「交通事故」1,100件（7.9%）となっています。

事故種別救急出場件数・搬送人員

令和2年中

市 町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
種 別								
火災	災	53	10	13	8	5		89
自然災害	害	8			2			10
水難		7	1	2	1	1		12
交通		756	44	111	130	58	1	1,100
労働災害		81	12	18	9	12		132
運動競技		94	5	4	11	3		117
一般負傷		1,248	123	246	166	85	2	1,870
加害		37	1	5	3	1		47
自損行為		93	7	16	7	5		128
急病		5,275	510	945	710	334	1	7,775
その他	転院	1,442	72	250	153	84		2,001
	医師	3			1	1	1	6
	資器材				1			1
	その他	443	43	65	70	24	1	646
出場件数(計)		9,540	828	1,675	1,272	613	6	13,934
傷病程度	死	174	23	30	36	16		279
	重	1,110	89	180	128	82	1	1,590
	中	4,176	335	791	520	239	1	6,062
	軽	3,394	311	560	480	239	1	4,985
	その他							0
搬送人員(計)		8,854	758	1,561	1,164	576	3	12,916
不搬送		751	73	124	122	42	3	1,115

救急出場件数・搬送人員グラフ

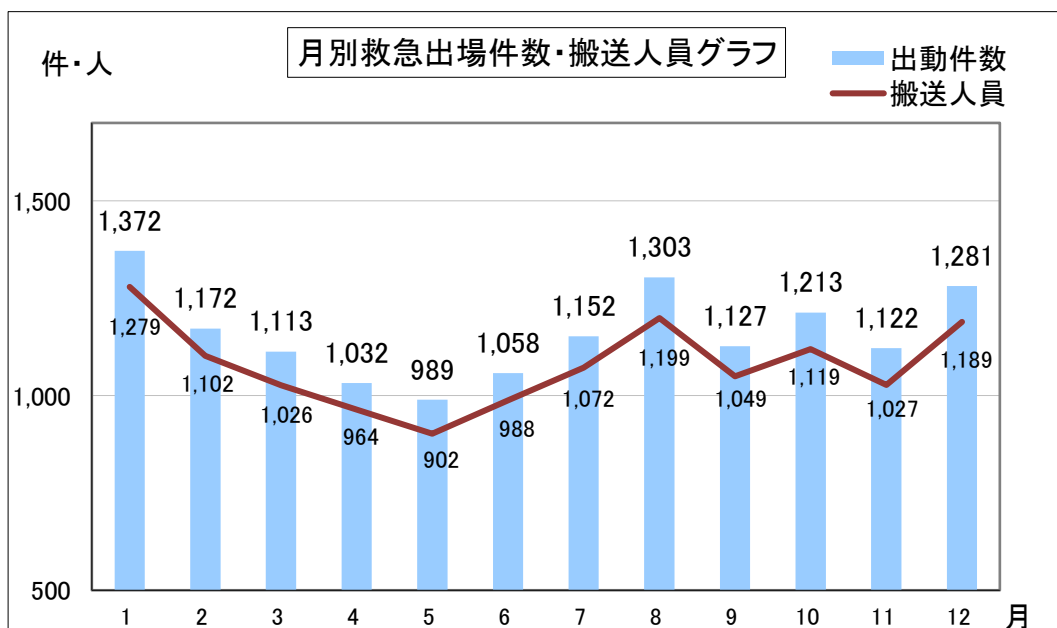


月別救急出場件数・搬送人員

令和2年中

市町 月	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
1月	970	70	151	126	54	1	1,372
	903	67	143	117	49		1,279
2月	801	75	141	108	47		1,172
	758	67	134	100	43		1,102
3月	785	61	134	93	40		1,113
	725	55	121	85	40		1,026
4月	664	68	139	108	53		1,032
	624	62	128	101	49		964
5月	698	57	115	79	38	2	989
	643	55	104	68	31	1	902
6月	723	66	124	99	46		1,058
	675	62	117	89	45		988
7月	790	65	141	100	56		1,152
	738	56	131	94	53		1,072
8月	855	88	158	136	65	1	1,303
	785	81	144	123	65	1	1,199
9月	768	71	129	109	50		1,127
	715	65	122	100	47		1,049
10月	856	59	140	103	55		1,213
	786	56	132	95	50		1,119
11月	758	66	140	102	55	1	1,122
	695	58	130	90	53	1	1,027
12月	872	82	163	109	54	1	1,281
	807	74	155	102	51		1,189
計	9,540	828	1,675	1,272	613	6	13,934
	8,854	758	1,561	1,164	576	3	12,916

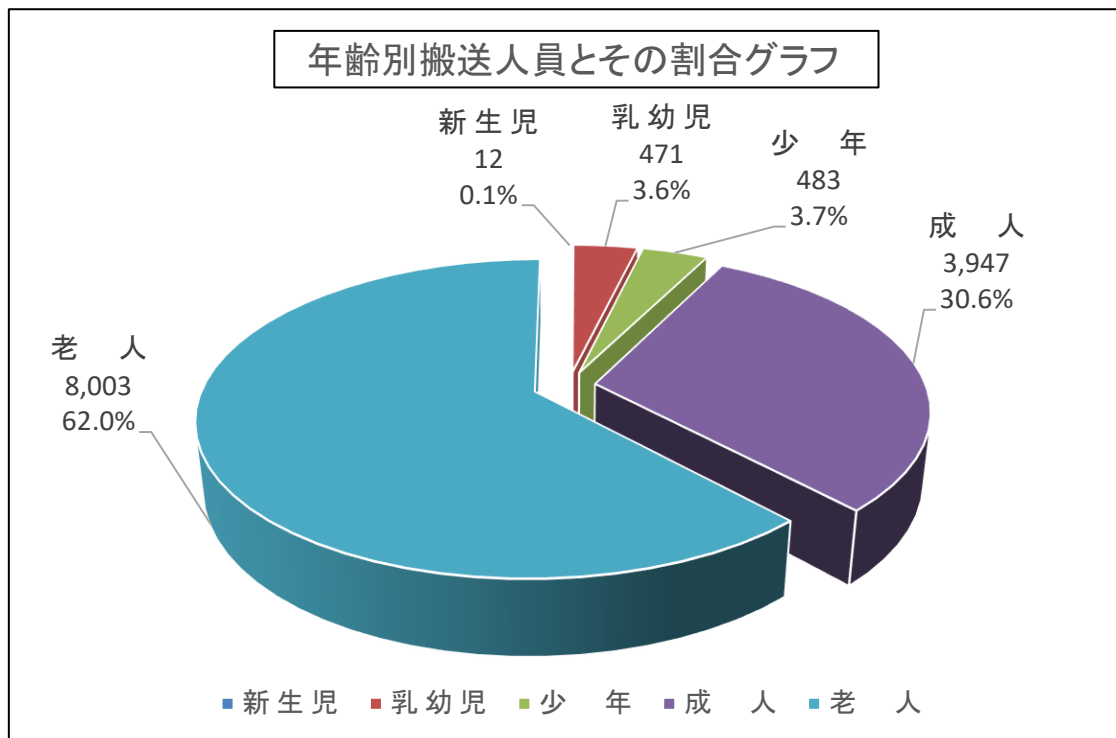
※上段は出場件数、下段は搬送人員を示す。



年齢別搬送人員

令和2年中

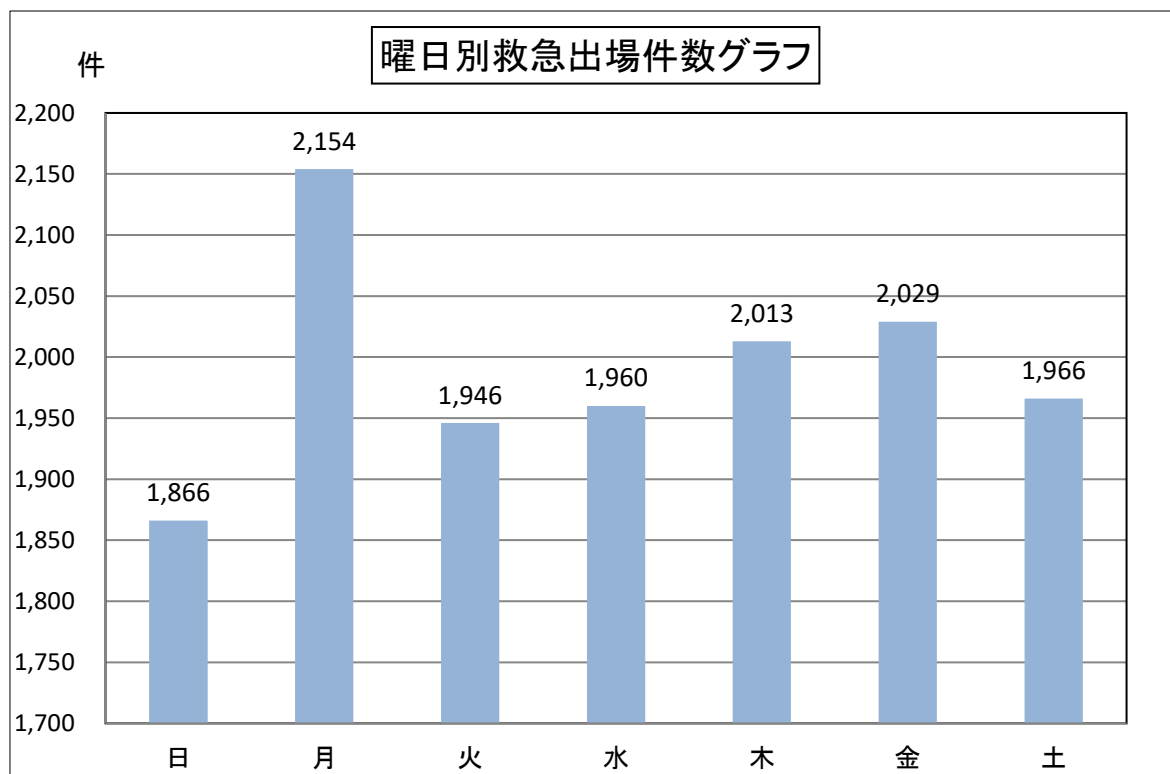
市 町 年 齢	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
新生児 生後 28日以内	10			2			12
乳幼児 29日以上 7歳未満	338	16	57	38	22		471
少年 7歳以上 18歳未満	343	23	36	57	24		483
成人 18歳以上 65歳未満	2,816	177	405	338	208	3	3,947
老人 (65歳以上)	5,347	542	1,063	729	322		8,003
計	8,854	758	1,561	1,164	576	3	12,916



曜日別救急出場件数

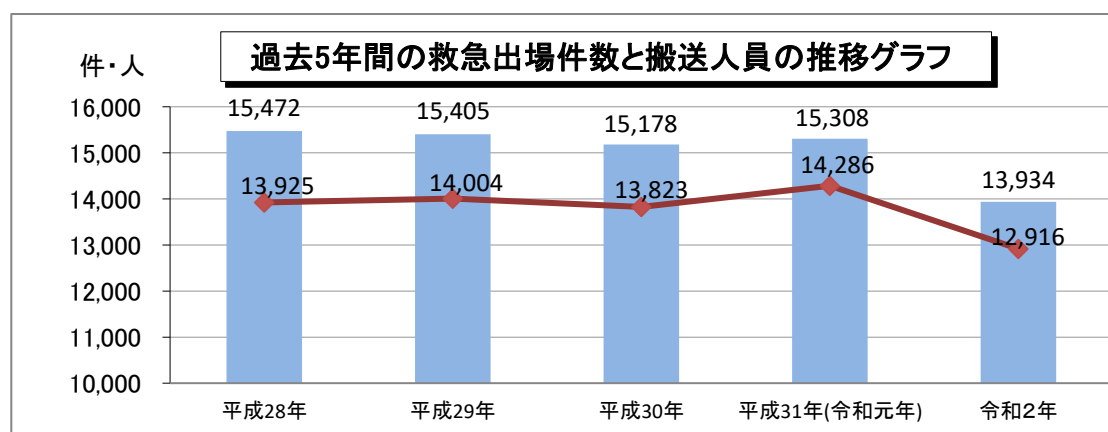
令和2年中

市 曜日	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
日	1,287	119	232	162	63	3	1,866
月	1,482	134	240	189	109		2,154
火	1,303	116	261	172	93	1	1,946
水	1,396	104	213	162	85		1,960
木	1,365	139	246	186	75	2	2,013
金	1,384	118	241	197	89		2,029
土	1,323	98	242	204	99		1,966
計	9,540	828	1,675	1,272	613	6	13,934



過去3年間の救急出場件数

市 町 年・種別			佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
平成30年	火災	災害	61	6	12	11	9		99
	自然	災害	1	1	1				3
	水	難	10		2	2			14
	交通	災害	907	61	166	135	66	7	1,342
	労働	災害	86	6	12	14	16		134
	運動	競技	128	6	16	5	7		162
	一般	負傷	1,339	130	233	162	87		1,951
	加	害	32	3	9	4	1		49
	自損	行為	87	6	20	10	6		129
	急	病	5,953	529	962	824	377	5	8,650
計	その他		1,842	115	378	220	90		2,645
	出場件数		10,446	863	1,811	1,387	659	12	15,178
平成31年 (令和元年)	搬送人員		9,471	808	1,668	1,246	612	18	13,823
	火災	災害	62	3	16	17	4	1	103
	自然	災害	10		5				15
	水	難	7		1				8
	交通	災害	936	62	150	150	84	4	1,386
	労働	災害	99	14	21	15	4		153
	運動	競技	107	9	13	15	1		145
	一般	負傷	1,281	140	240	146	93		1,900
	加	害	25	1	5	2	1		34
	自損	行為	85	11	14	21	4		135
計	急	病	5,929	576	986	840	391	7	8,729
	その他		1,944	129	332	177	117	1	2,700
令和2年	出場件数		10,485	945	1,783	1,383	699	13	15,308
	搬送人員		9,781	882	1,685	1,284	644	10	14,286
	火災	災害	53	10	13	8	5		89
	自然	災害	8			2			10
	水	難	7	1	2	1	1		12
	交通	災害	756	44	111	130	58	1	1,100
	労働	災害	81	12	18	9	12		132
	運動	競技	94	5	4	11	3		117
	一般	負傷	1,248	123	246	166	85	2	1,870
	加	害	37	1	5	3	1		47
計	自損	行為	93	7	16	7	5		128
	急	病	5,275	510	945	710	334	1	7,775
計	その他		1,888	115	315	225	109	2	2,654
	出場件数		9,540	828	1,675	1,272	613	6	13,934
	搬送人員		8,854	758	1,561	1,164	576	3	12,916



救助事故の種別

事 故 種 別	摘 要
建 物 火 災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建 物 火 災 以 外	林野、車両、航空機その他の火災において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
風水害等自然災害事 故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機 械 による 事 故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
破 裂 事 故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。ただし、瞬間的な燃焼現象である混合ガス爆発、ガスの分解燃焼、粉塵爆発などの化学的変化による爆発は、火災として扱う。
そ の 他 の 事 故	前に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。（出動したが誤報、いたずらであった場合も該当する。）

令和2年中の救助出動概要

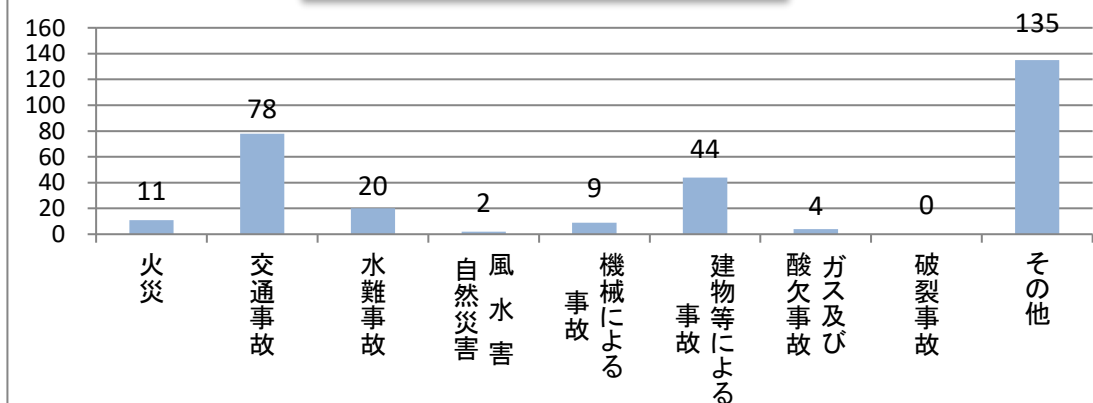
令和2年中の救助出動件数は303件で、前年より83件減少しています。
 事故種別ごとにみると、「その他の事故」が135件(44.6%)、次いで「交通事故」78件(25.7%)、「建物等による事故」44件(14.5%)、「水難事故」20件(6.6%)、「建物火災」11件(3.6%)となっています。

市町別事故種別救助出動件数・救助人員

令和2年中

市 町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計
事故種別	出動件数	8	1	1		1		11
	救助人員	7						7
火 災	出動件数	34	5	9	13	7	10	78
	救助人員	24	8	8	13	2	3	58
交 通 事 故	出動件数	13	1	1	4	1		20
	救助人員	8	1	1	2	1		13
水 難 事 故	出動件数	1			1			2
	救助人員				1			1
風 水 害 自 然 災 害	出動件数	4	1		4			9
	救助人員	3			2			5
機 械 に よ る 事 故	出動件数	33	2	6	2	1		44
	救助人員	29	1	4	1	2		37
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	3		1				4
	救助人員	2		1				3
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
破 裂 事 故	出動件数	87	12	16	8	7	5	135
	救助人員	51	6	7	4	2		70
そ の 他	出動件数	183	22	34	32	17	15	303
	救助人員	124	16	21	23	7	3	194
合 計	出動件数							
	救助人員							

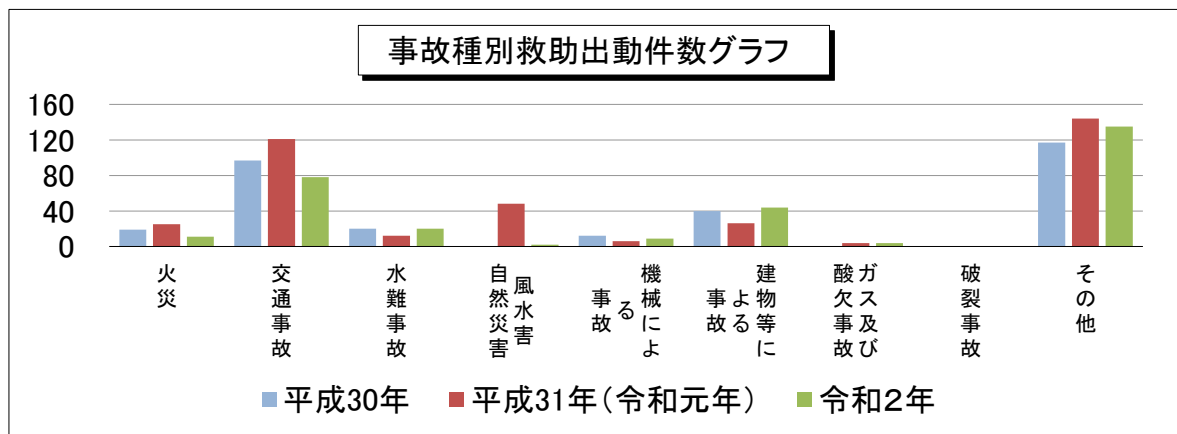
事故種別救助出場件数グラフ



過去3年間の事故種別救助出動件数

年 事故種別		平成30年							平成31年（令和元年）							令和 2 年						
		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	合計
市	町																					
火 災	出動件数	13		2	2	2		19	18		4	2	1		25	8	1	1		1		11
	救助人員	5			2	1		8	4		1		1		6	7						7
交 通 事 故	出動件数	44	8	19	16	7	3	97	54	11	16	16	8	16	121	34	5	9	13	7	10	78
	救助人員	24	1	15	14	1		55	31	5	9	6	3	1	55	24	8	8	13	2	3	58
水 難 事 故	出動件数	16	1	2	1			20	8		1	2	1		12	13	1	1	4	1		20
	救助人員	9		2	1			12	3		1	1			5	8	1	1	2	1		13
風 水 害 自 然 災 害	出動件数							0	26	7	14	1		48	1			1			2	
	救助人員							0	37	52	31	2		122				1			1	
機 械 に よ る 事 故	出動件数	10	1	1				12	4	1	1			6	4	1		4			9	
	救助人員	6						6	1					1	3			2			5	
建物等による 事 故	出動件数	33		1	3	3		40	21	1	3	1		26	33	2	6	2	1		44	
	救助人員	24		1		4		29	9	1	3			13	29	1	4	1	2		37	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0	4					4	3		1				4	
	救助人員							0	1					1	2		1				3	
破 裂 事 故	出動件数							0						0							0	
	救助人員							0						0							0	
そ の 他	出動件数	71	5	22	14	4	1	117	81	11	19	17	5	11	144	87	12	16	8	7	5	135
	救助人員	48	2	13	8	4		75	44	6	24	11	2	2	89	51	6	7	4	2		70
計	出動件数	187	15	47	36	16	4	305	216	31	58	39	15	27	386	183	22	34	32	17	15	303
	救助人員	116	3	31	25	10	0	185	130	64	69	20	6	3	292	124	16	21	23	7	3	194

※ 上段は出動件数、下段は救助人員を示す。



警戒出動の種別

災 害 種 別	摘 要
油 漏 え い	交通事故等により、ガソリンなどの油類の危険物質が漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
ガ ス 漏 え い	都市ガス、プロパンガス、その他の引火性又は有毒性のガスが漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
火災警報器等発報	火災等の発生により、火災警報器等が発報したことを覚知した場合の出動をいう。
救 急 活 動 支 援	救急車出動時の消防隊による活動支援のための出動をいう。
そ の 他	前に掲げるもののほか、次の出動をいう。 ・台風、大雨等の自然災害により人命に危険が予想される場合の出動 ・ドクターヘリ等の場外離発着時における危険排除のための出動 ・火災と紛らわしい発煙を覚知した場合の出動

令和2年中の警戒出動概要

令和2年中の警戒出動件数は2,072件で、前年より13件減少しています。
 災害種別ごとにみると、「救急活動支援」が1,502件(72.5%)、次いで「その他」255件(12.3%)、「火災警報器等発報」227件(11.0%)、「油漏えい」81件(3.9%)となっています。

事故種別警戒出動状況

令和2年中

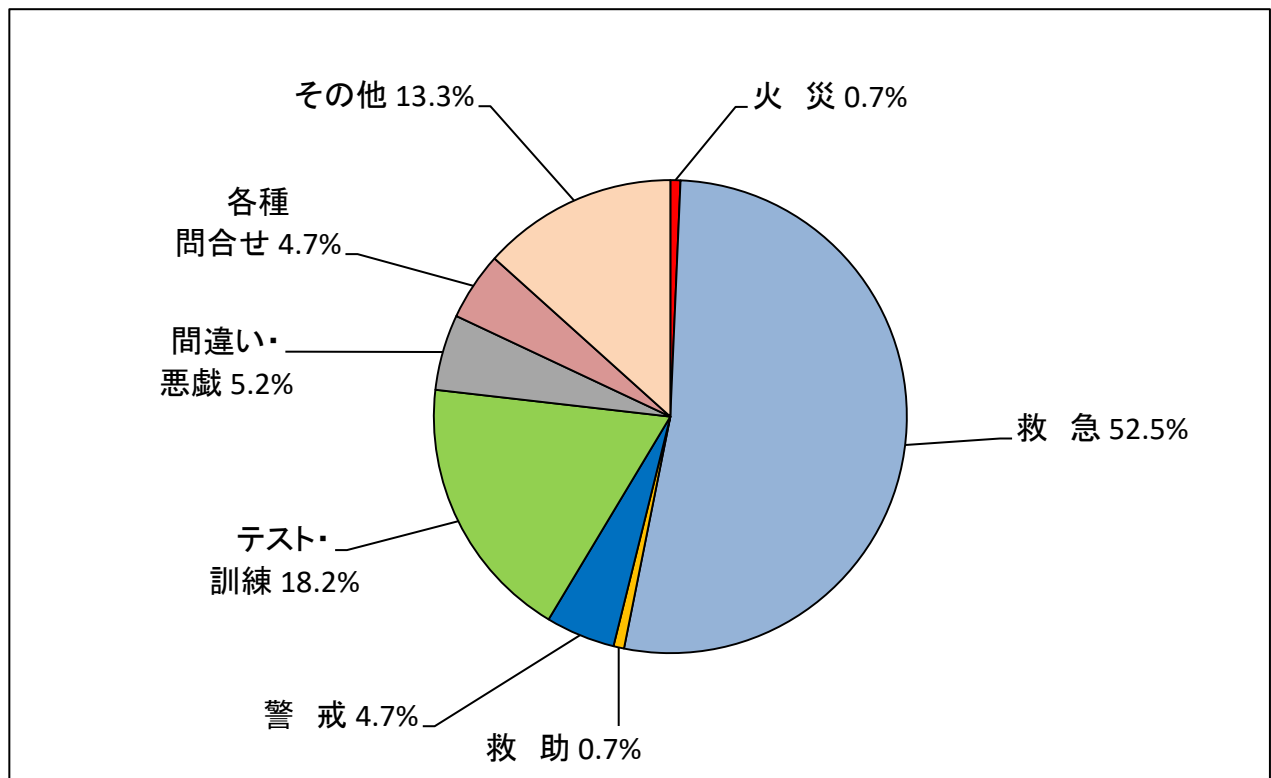
事故種別 \ 市町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
油 漏 え い	50	5	10	11	5		81
ガ ス 漏 え い	6				1		7
火災警報器等発報	166	16	24	16	5		227
救 急 活 動 支 援	1,018	117	159	131	77		1,502
そ の 他	139	34	16	45	21		255
計	1,379	172	209	203	109	0	2,072

119番受信状況

令和2年中

月 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	比率
火 災	13	8	18	17	23	16	4	14	14	19	12	6	164	0.7%
救 急	1,214	1,013	974	911	886	975	1,073	1,166	1,035	1,071	1,033	1,164	12,515	52.5%
救 助	19	15	10	11	10	10	17	14	4	19	16	28	173	0.7%
警 戒	114	109	93	72	62	69	84	94	100	113	97	124	1,131	4.7%
テスト・ 訓練	259	345	436	279	337	450	350	256	319	390	470	453	4,344	18.2%
間違い・ 悪戯	112	101	64	110	120	101	127	117	87	83	113	101	1,236	5.2%
各種 問合せ	111	76	95	63	95	85	108	102	91	106	93	88	1,113	4.7%
その他	273	267	270	259	274	268	274	305	256	251	244	242	3,183	13.3%
計(回)	2,115	1,934	1,960	1,722	1,807	1,974	2,037	2,068	1,906	2,052	2,078	2,206	23,859	100%

※「その他」には、「他消防本部等への転送」および、「一般業務問い合わせ」、「消防機関の電話番号問い合わせ」などの各種問い合わせが含まれます。



施設所在地・連絡先一覧

佐賀広域消防局 〒849-0919 (電話) 0952-30-0111 (代表)
 佐賀市兵庫北三丁目5番1号 (FAX) 0952-31-2119
 (E-mail) sagakoiki@chubu.saga.saga.jp
<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

総務課	(電話) 0952-33-6763
警防課	(電話) 0952-33-6761
予防課	(電話) 0952-33-6765
情報指令課	(電話) 0952-30-0111 (代表)

(火災問い合わせ) 0180-999-000

(医療機関問い合わせ) 0952-31-8899

佐賀消防署	〒849-0919 佐賀市兵庫北三丁目5番1号	(電話) 0952-33-6771(庶務課) (電話) 0952-33-6767(消防課) (電話) 0952-33-6775(救急課) (電話) 0952-33-6773(予防指導課) (FAX) 0952-32-1838
西分署	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸1357番地1	(電話) 0952-25-3320 (FAX) 0952-25-4727
東分署	〒840-0012 佐賀市北川副町大字光法1137番地	(電話) 0952-27-1339 (FAX) 0952-27-1379
中央出張所	〒840-0831 佐賀市松原一丁目1番23号	(電話) 0952-23-3307 (FAX) 0952-23-3309
※中央出張所は、R3.9.30をもって廃止します。		
多久消防署	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22番地1	(電話) 0952-75-2191 (FAX) 0952-75-2696
多久南西出張所	〒846-0031 多久市多久町1776番地30	(電話) 0952-97-7119 (FAX) 0952-97-8119
南部消防署	〒840-2213 佐賀市川副町大字鹿江1152番地1	(電話) 0952-45-6442 (FAX) 0952-45-4930
久保田出張所	〒849-0202 佐賀市久保田町大字久富450番地13	(電話) 0952-68-3248 (FAX) 0952-68-3246
北部消防署	〒840-0211 佐賀市大和町大字東山田2739番地	(電話) 0952-62-3442 (FAX) 0952-62-1926
富士出張所	〒840-0522 佐賀市富士町大字畑瀬68番地30	(電話) 0952-58-2811 (FAX) 0952-58-2812
小城消防署	〒849-0301 小城市牛津町乙柳894番地1	(電話) 0952-66-1541 (FAX) 0952-66-1542
北分署	〒845-0002 小城市小城町畑田2626番地12	(電話) 0952-73-9919 (FAX) 0952-73-9922
神埼消防署	〒842-0006 神埼市神埼町枝ヶ里184番地1	(電話) 0952-52-3291 (FAX) 0952-53-2174
三脊出張所	〒842-0302 佐賀市三瀬村藤原2938番地1	(電話) 0952-56-2009 (FAX) 0952-56-2185
吉野ヶ里出張所	〒842-0102 神埼郡吉野ヶ里町石動2792番地4	(電話) 0952-53-0541 (FAX) 0952-53-0542